

2025

授業計画（シラバス）

杉野服飾大学 服飾文化学科
3 年次（2023 年度生）

【整理番号】

■専門科目■

- 【1】 レプリカ製作(歴史衣装)
- 【2】 衣の伝統と現代Ⅰ(衣の民俗文化)
- 【3】 服飾文化演習A
- 【4】 服飾文化造形演習A
- 【5】 レプリカ製作特講
- 【6】 エシカル・ファッション実習
- 【7】 衣の伝統と現代Ⅱ(衣のものづくり)
- 【8】 服飾文化演習B
- 【9】 服飾文化造形演習B
- 【10】 衣服修復技術
- 【11】 インターンシップ
- 【12】 長期インターンシップ
- 【13】 ショップディスプレイ
- 【14】 PRコミュニケーション論
- 【15】 ファッション画(CG)
- 【16】 染織史
- 【17】 ファッションプレゼンテーション演習
- 【18】 ドレーピング&パターンメイキング(選)
- 【19】 近代日本モード史
- 【20】 リテールビジネスにおけるVMDマネジメント
- 【21】 現代流通論
- 【22】 食物学(食品学)
- 【23】 住居学
- 【24】 保育学
- 【25】 食文化論
- 【26】 食物学(調理実習・実験)Ⅰ
- 【27】 食物学(調理実習・実験)Ⅱ

■教養科目■

- 【28】 言語と服飾文化
- 【29】 日本語表現Ⅰ
- 【30】 日本語表現Ⅱ
- 【31】 日本語Ⅰ
- 【32】 日本語Ⅱ

■学芸員■

- 【33】 博物館展示論
- 【34】 博物館教育論
- 【35】 博物館情報・メディア論

IV. 履修科目単位内訳表

(2023年度生用)

杉野服飾大学 服飾学部 服飾文化学科

授業科目の区分と履修方法			修 得 単 位 数
専 門 科 目	必 修		54
	選択必修		6
	選 択		30
専門科目合計			90 単位
教 養 科 目	初 年 次	必 修	10
	一 般 体 育 国際関係	選 択	16
	外 国 語	選択必修	8
教養科目合計			34 単位
総 合 計			124 単位

レプリカ製作（歴史衣装）

菅野 ももこ、宮澤 光与

服飾文化学科 3年 前期 必修 (2単位 実験実習)

■授業の方針・概要

本授業では、英国の舞台衣裳デザイナー兼、歴史衣装家であるジャネット・アーノルド（Janet Arnold, 1932-1998）の著書である『ファッションの型紙』（Patterns of Fashion 3: The Cut and Construction of Clothes for Men and Women C. 1560-1620）を主な参考資料として用い、1/2サイズの歴史衣装のレプリカを制作する。

■到達目標（学修成果）

歴史上に散見される衣服制作の方法の中には、現代の私達にはなじみの無いものも多い。そこには各時代、各様式の中で理想とされた美意識が反映されている。レプリカを制作する過程で、多様な衣服の形態や縫製方法を学び、新たな創造の糧となるよう理解を深める。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

本科目は卒業要件科目です。実験実習授業です。

■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

授業内容に応じて用意する課題レポートについては、添削やコメントを付して対面で返却します。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	%
外部評価・検定試験結果	%

■教科書

なし。必要に応じて資料を配布します。

■参考文献

必要に応じて授業内で紹介します。

■オフィスアワー・研究室

初回授業でお知らせします。

■備考

状況により、日程や内容を変更する場合があります。

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 菅野	オリエンテーション、授業予定についての説明 参考文献Patterns of Fashion 2を日本語に翻訳	予習：シラバスの確認	30分
2回 菅野	参考文献Patterns of Fashion 2を日本語に翻訳	復習：授業を振り返り、授業内で取り組んだ課題について考える	30分
3回 菅野	縫製手順の確認	復習：授業を振り返り、授業内で取り組んだ課題について考える	30分
4回 菅野	実物制作 製図	復習：授業を振り返り、授業内で取り組んだ課題について考える	30分
5回 菅野	実物制作 型紙作成	復習：授業を振り返り、授業内で取り組んだ課題について考える	30分
6回 菅野	実物制作 印付け	復習：授業を振り返り、授業内で取り組んだ課題について考える	30分
7回 菅野	実物制作 縫製	復習：授業を振り返り、授業内で取り組んだ課題について考える	30分
8回 菅野	実物制作 縫製	復習：授業を振り返り、授業内で取り組んだ課題について考える	30分
9回 菅野	実物制作 縫製	復習：授業を振り返り、授業内で取り組んだ課題について考える	30分
10回 菅野	実物制作 仕上げ	復習：授業を振り返り、授業内で取り組んだ課題について考える	30分
11回 菅野	1/2トルソーへの着装と観察、撮影	復習：授業を振り返り、授業内で取り組んだ課題について考える	30分
12回 菅野	レポート作成 参考資料の検索	復習：授業を振り返り、授業内で取り組んだ課題について考える	30分
13回 菅野	レポート作成 必要画像の撮影、整理	復習：授業を振り返り、授業内で取り組んだ課題について考える	30分
14回 菅野	レポート作成 テキストデータ整理	復習：授業を振り返り、授業内で取り組んだ課題について考える	30分
15回 菅野	プレゼンテーション まとめ	予習：ディスカッションの準備	30分

衣の伝統と現代Ⅰ（衣の民俗文化）

梅谷 知世

服飾文化学科 3年 前期 必修 （2単位 講義）

■授業の方針・概要

日本各地で育まれ継承されてきた伝統的な織りや染めについて、その技法と意匠の特色を歴史的視点から捉えるとともに、産地におけるフィールドワークを通して実践的に学んでいきます。具体的には大島紬を中心とした絣織物を取り上げます。また、産地の課題とその解決への取り組みを、自治体や組合へのインタビューや地域の人びとの交流を通して理解し、ものづくりの伝統を次世代へ継ぐ提案ができる力を身につけます。

■到達目標（学修成果）

- ①大島紬を中心とする絣織物の技法とデザインについて、歴史的な視点から理解し、説明することができる。
- ②伝統染織産地における振興策と地域の人びとの想いを理解し、伝統染織を文化および産業として次世代につなぐための具体的な提案ができる。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

服飾文化学科の専門必修科目で、卒業要件科目です。

■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

授業内課題や期末レポートについて、授業時またはCampusMagic等でコメントを行います。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	30%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	40%
外部評価・検定試験結果	0%

■教科書

教科書は使用しません。授業内容に応じて資料プリントを配布します。

■参考文献

授業時に紹介します。

■オフィスアワー・研究室

初回授業でお知らせします。

■備考

授業内課題や期末レポートについて、授業時またはCampusMagic等でコメントを行います。

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 梅谷	ガイダンス	シラバスを確認し授業の進め方について把握する。	30分
2回 梅谷	日本の伝統的な「織り」の技法について／日本各地の絣織物について	授業内容の振り返りを行い課題に取り組む	60分
3回 梅谷	結城紬の技法と意匠	授業内容の振り返りを行い課題に取り組む	60分
4回 梅谷	銘仙の技法と意匠	授業内容の振り返りを行い課題に取り組む	60分
5回 梅谷	近現代における大島紬の技術革新と意匠の展開について①	授業内容の振り返りを行い課題に取り組む	60分
6回 梅谷	近現代における大島紬の技術革新と意匠の展開について②	授業内容の振り返りを行い課題に取り組む	60分
7回 梅谷	大島紬の「締機」「織り」の工程と「検査」の見学／職人の熟練の技を知る	見学レポートに取り組む	60分
8回 梅谷	大島紬の職人へのインタビュー調査／職人の美意識と想いを知る	インタビュー調査の内容をまとめる	60分
9回 梅谷	大島紬の泥染め体験	体験レポートに取り組む	60分
10回 梅谷	泥染め職人の挑戦を知る（ゲストスピーカーによる講義）	レポートに取り組む	60分
11回 梅谷	機屋訪問／大島紬の生産過程を知る	インタビュー調査の内容をまとめる	60分
12回 梅谷	大島紬産地の自治体や組合と地域住民へのインタビュー調査／自治体や組合の取り組みと住民の想いを知る	インタビュー調査の内容をまとめる	60分
13回 梅谷	フィールドワークで知った大島紬の魅力を伝える／プレゼンテーションとディスカッション	プレゼンテーションの振り返りを行う	60分
14回 梅谷	大島紬を次世代に継ぐため方法を提案する／プレゼンテーションとディスカッション	プレゼンテーションの振り返りを行う	60分
15回 梅谷	まとめ	最終課題の提出	60分

服飾文化演習 A

鈴木 桜子

服飾文化学科 3年 前期 選択必修 (1単位 演習)

■授業の方針・概要

欧米を中心とする多彩な服飾文化を理解するために、歴史的・文化的視点からどのようなアプローチができるのか、これまでの服飾文化研究の事例を通してその研究方法を学びます。授業では受講生の興味関心に応じた内容で、資料調査、テキストの講読、受講生自らのプレゼンを行なっていきます。本授業によって、服飾文化研究分野での研究テーマ・研究目的・研究方法・論文構成を理解し、4年次での自らの卒業研究に繋げていくための導入とします。

4年次の卒業研究で欧米文化圏の論文、研究レポートを考えている人は受講することが望ましいです。

■到達目標（学修成果）

到達目標①：欧米の服飾文化に関する近年の研究傾向を知ることができる。

到達目標②：服飾文化研究のための資料蒐集・調査方法・論文作成について自らの研究に繋げることができる。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

服飾文化学科の選択必修科目として卒業認定単位となります。

■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

少人数のゼミ形式のため、常に授業内では対話、ディスカッションによるフィードバックを行なっていきます。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	0%
外部評価・検定試験結果	0%

■教科書

授業内容に応じて紹介します。

■参考文献

授業内容に応じて紹介します。

■オフィスアワー・研究室

最初の授業回で確認します。

■備考

「資料調査の検討」の回では、学外調査（国会図書館、専門資料館、展覧会等）に足を運ぶことがあります。そのため、授業終了時間以降も時間を空けておくことが望ましいです。

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 鈴木	ガイダンス	服飾文化にかかわる歴史的な視点を持ち、日頃から関心や疑問を持つ。	60分
2回 鈴木	服飾文化研究の現在、テキスト紹介Ⅰ	服飾文化にかかわる歴史的な視点を持ち、日頃から関心や疑問を持つ。	60分
3回 鈴木	資料調査の検討①	服飾文化にかかわる歴史的な視点を持ち、日頃から関心や疑問を持つ。	60分
4回 鈴木	資料調査の検討②	服飾文化にかかわる歴史的な視点を持ち、日頃から関心や疑問を持つ。	60分
5回 鈴木	資料調査の検討③	服飾文化にかかわる歴史的な視点を持ち、日頃から関心や疑問を持つ。	60分
6回 鈴木	研究論文講読①	現時点の自らの関心テーマについて改めて考える	60分
7回 鈴木	研究論文講読②	現時点の自らの関心テーマについて改めて考える	60分
8回 鈴木	第3回～7回のまとめ（プレゼンと評価）	現時点の自らの関心テーマについて改めて考える	90分
9回 鈴木	テキスト紹介Ⅱ	服飾文化にかかわる歴史的な視点を持ち、日頃から関心や疑問を持つ。	60分
10回 鈴木	資料調査の検討④	服飾文化にかかわる歴史的な視点を持ち、日頃から関心や疑問を持つ。	60分
11回 鈴木	資料調査の検討⑤	服飾文化にかかわる歴史的な視点を持ち、日頃から関心や疑問を持つ。	60分
12回 鈴木	研究論文講読③	現時点の自らの関心テーマについて改めて考える	60分
13回 鈴木	研究論文講読④	現時点の自らの関心テーマについて改めて考える	60分
14回 鈴木	研究論文講読⑤	現時点の自らの関心テーマについて改めて考える	60分
15回 鈴木	第10回～第14回のまとめ（プレゼンと評価）	現時点の自らの関心テーマについて改めて考える、後期以降の学修に繋げる	90分

服飾文化造形演習 A

井口 多恵子

服飾文化学科 3年 前期 選択必修 (1単位 実験実習)

■授業の方針・概要

1年次、2年次で学んだサステナビリティ関連科目の知識や技術を十分に活用し、服飾に関係する現代的な問題（SDGs等）についてチームを組んで発信できる取り組みを考えます。学修の場を「地域」という身近なフィールドに広げて、社会の一員、地域の一員という意識を持ち、地域社会との交流を通じてコミュニケーション力、問題解決力、実行力などを養い、実践できることを探りチャレンジします。

■到達目標（学修成果）

実践できる取り組みを考える発想力、提案力、実行力を身につけることができる。
社会の一員として求められるコミュニケーション力、問題解決力を身につけることができる。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

服飾文化学科の選択必修科目で卒業要件の科目です

■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

授業の記録レポートを作成し、学生ポータルサイトに提出します。点検、評価し、コメントします。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	%
外部評価・検定試験結果	%

■教科書

なし

■参考文献

必要に応じて適宜お知らせします

■オフィスアワー・研究室

初回授業にお知らせします

■備考

状況により、内容や日程に変更があります

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 井口	オリエンテーション 授業の概要について	予習：シラバスを読む	30分
2回 井口	環境に関連する取り組みの趣旨説明（自治体関係者の講義） 事例紹介	復習：授業内容をまとめる	30分
3回 井口	取り組み内容の情報収集、立案と検討、試作	復習：授業内容をまとめる	30分
4回 井口	取り組み内容の情報収集、立案と検討、試作	復習：授業内容をまとめる	30分
5回 井口	取り組み内容の情報収集、立案と検討、試作	復習：授業内容をまとめる	30分
6回 井口	取り組み案の資料作成	復習：授業内容をまとめる	30分
7回 井口	プレゼンテーション、ディスカッション 取り組み内容の検討、グループ分け	復習：授業内容をまとめる	30分
8回 井口	グループワーク （各グループで進め方を検討する）	復習：授業内容をまとめる	30分
9回 井口	グループワーク	復習：授業内容をまとめる	30分
10回 井口	グループワーク	復習：授業内容をまとめる	30分
11回 井口	グループワーク	復習：授業内容をまとめる	30分
12回 井口	グループワーク	復習：授業内容をまとめる	30分
13回 井口	資料作成	復習：授業内容をまとめる	30分
14回 井口	資料作成	復習：授業内容をまとめる プレゼンテーションの準備をする	60分
15回 井口	まとめ プレゼンテーション、ディスカッション	復習：授業内容をまとめる	30分

レプリカ製作特講

安部 智子

服飾文化学科 3年 前期 必修 (1単位 講義)

■授業の方針・概要

本学衣裳博物館収蔵のメゾン・ウォルトのイヴニングドレスの復元研究とジャック・ドゥーセのジャケットとスカートの調査研究を題材に、歴史衣装におけるレプリカ製作の事例を学びます。

■到達目標（学修成果）

先行研究を基にレプリカ製作について理解を深める。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

この科目は、専門必修科目の卒業要件科目です。

■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

課題レポートについては、学内システムなどを利用してコメントします。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	0%
外部評価・検定試験結果	0%

教科書

なし

参考文献

ファッション創造における芸術的技法の解析研究 研究成果報告書 (杉野服飾大学発行)

ジャック・ドゥーセのジャケットとスカートの服飾造形調査研究 | (杉野服飾大学紀要)

■オフィスアワー・研究室

安部（研究棟6033） 田口（テキスタイルデザイン研究室 3011） 水野（研究棟6012）

■備考

状況により、日程や内容を変更する場合があります。

■授業計画

[illegible]

エシカル・ファッション実習

井口 多恵子

服飾文化学科 3年 後期 必修 (2単位 実験実習)

■授業の方針・概要

3年次前期までの学修の積み重ねのもとにエシカルなファッションとは何か、衣服を作る目的からデザイン、製作・生産に至る考え方のプロセスを重視し、環境、人権、地域社会、産業文化を視野に入れたファッションの在り方を実制作につなげていきます。本科目では作るターゲットに対してどんなことを配慮しているか、作るターゲットに対して「やさしい」服に作られるように工夫しているか、など、作る視点を絞り、考えて制作していきます。

■到達目標（学修成果）

制作作品のテーマ、プロセスを理解し、発信力、提案力を身に付ける
作品制作に必要な縫製技術を身に付ける

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

専門必修科目で卒業要件単位の科目です。服飾に関係する現代的な問題（SDG s 等）を解決する能力を備える科目です。

■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

提出される課題、作品は点検後評価し、授業内に返却する。または学生ポータルサイトにコメントする。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	%
外部評価・検定試験結果	%

■教科書

なし

■参考文献

必要に応じて適宜紹介します

■オフィスアワー・研究室

初回授業にお知らせします。

■備考

状況により内容、日程に変更があります。

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 井口	オリエンテーション 事例紹介 情報収集	予習：シラバスを読んで確認する	30分
2回 井口	アパレル業界での取り組み事例紹介 (ゲストスピーカー)	復習： 授業内容をまとめる	30分
3回 井口	制作テーマ考案 情報収集	復習： 授業内容をまとめる	30分
4回 井口	制作テーマについてのグループディスカッション	復習： 授業内容をまとめる	30分
5回 井口	制作テーマ、アイテムの検討、デザインの考案	復習： 授業内容をまとめる	30分
6回 井口	制作のプロセスの検討、試作	復習： 授業内容をまとめる	30分
7回 井口	制作のプロセスの検討、試作	復習： 授業内容をまとめる	30分
8回 井口	実物作品制作	復習： 授業内容をまとめる	30分
9回 井口	実物作品制作	復習： 授業内容をまとめる	30分
10回 井口	実物作品制作	復習： 授業内容をまとめる	30分
11回 井口	実物作品制作	復習： 授業内容をまとめる	30分
12回 井口	実物作品制作	復習： 授業内容をまとめる	30分
13回 井口	実物作品制作	復習： 授業内容をまとめる	30分
14回 井口	実物作品、仕上げ プレゼンテーションの資料作成	復習： 授業内容をまとめる 予習：プレゼンテーションの準備	60分
15回 井口	プレゼンテーション発表、提出作品のディスカッション まとめ	復習： 授業内容をまとめる	30分

衣の伝統と現代Ⅱ（衣のもののづくり）

大久保 尚子

服飾文化学科 3年 後期 必修 （2単位 講義）

■授業の方針・概要

日本で受け継がれてきた衣にかかわる多様な染織技法のうち、特に注染を中心とする型染めの表現効果、意匠、受容のありかたの関係について、講義により今日に至る歴史展開に対する理解を深め、また作品の熟覧と染色体験により実践的に学びます。伝統的な衣のもののづくりの発展的継承の可能性について、企画と製作の現場に触れながら具体的に考え、広い視野に基づく提案力を養います。

■到達目標（学修成果）

- ・関東圏の注染を中心とした伝統的な型染めによるもの作りの歴史と現在、課題を把握し、発展的な継承につながる情報発信や提案を試みることができる。
- ・注染の技法特性を理解し、これを活かした図案もしくは意匠原案を示すことができる。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

この科目は、専門選択科目の卒業要件科目です。

■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

授業課題、レポート提出には学内システム利用予定。学外活動関係連絡にはメールも活用するため、担当者のアドレスを授業時にお知らせします。授業内の課題と授業期間中のレポートについては、授業内でフィードバックを行います。期末課題については学内システムでフィードバックを行います。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	20%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	30%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	50%
外部評価・検定試験結果	0%

■教科書

教科書は用いず、配布資料プリントによって授業を進めます。

■参考文献

大久保尚子「東京中形浴衣の近代化と注染の展開—同時代化する手仕事」2022年6月 授業時に配布
その他授業内で示します。

■オフィスアワー・研究室

前期：授業のある金曜日（12時30分～13時）第3校舎講師控え室 後期：なし（連絡先：本校舎一階教務課）

■備考

学外での染色体験、企業訪問、見学の実施回は、関係機関の事情等により変更する場合があります、これと連動して教室での授業の内容も前後入れ替わる可能性があります。詳細は授業時に示します。染色体験、展覧会入館料、現地への交通費は実費が必要となります。学外活動先は23区内です。

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 大久保	日本の伝統的染織技法に関する基礎知識を確認した上、型染めの歴史を概説する。技法特性と意匠、用途の関係を考える。	予習：シラバスを読む復習：授業時に示す復習課題に取り組む。	30分
2回 大久保	江戸東京圏の注染技法の歴史、意匠、受容（用途）との関係。伝産法と「伝統的工芸品」指定について。	予習：前回授業で示した予習課題に取り組む。復習：授業時に示す課題に取り組む。	30分
3回 大久保	明治～昭和期の注染手ぬぐい、ゆかた地、関連資料展示見学。作例を通し技法を活かす意匠、配り手ぬぐいの文化を学ぶ。	予習：前回授業で示した予習課題に取り組む。復習：見学レポートに取り組む。	60分
4回 大久保	伝統工芸 青山スクエア見学。伝統的工芸品産業振興の取り組みについて学ぶ。	予習：前回授業で示した予習課題に取り組む。復習：見学レポートに取り組む。	30分
5回 大久保	注染体験1 注染技法の特性を、体験を通し理解する。	予習：前回授業で示した予習課題に取り組む。復習：レポートに取り組む。	30分
6回 大久保	注染体験2 体験工房の活動について学ぶ。	予習：前回授業で示した予習課題に取り組む。復習：レポートに取り組む。	30分
7回 大久保	注染図案と型紙製作、型付け、染め技法との関係、伊勢型紙系型紙製作の歴史と現状を学ぶ。手ぬぐい図案制作の基本。	予習：前回授業で示した予習課題に取り組む。復習：授業時に示す課題に取り組む。	30分
8回 大久保	メッセージ性のある手ぬぐい図案を考える。	予習：前回授業で示した予習課題に取り組む。復習：授業時に示す課題に取り組む。	30分
9回 大久保	江戸東京の型染めゆかたの文化、その近代化と注染浴衣地製作の展開について学ぶ。	予習：前回授業で示した予習課題に取り組む。復習：授業時に示す課題に取り組む。	30分
10回 大久保	製造問屋訪問1 ゆかた地問屋の歴史と注染による新たな取り組みへの挑戦を知る。	予習：前回授業で示した予習課題に取り組む。復習：レポートに取り組む。	40分
11回 大久保	製造問屋訪問2 別注手ぬぐい製作を多く扱う問屋の仕事を知る。	予習：前回授業で示した予習課題に取り組む。復習：レポートに取り組む。	40分
12回 大久保	注染工場見学1 職人の技術力を知る。	予習：前回授業で示した予習課題に取り組む。復習：見学レポートに取り組む。	40分
13回 大久保	注染工場見学2 製作現場の課題に触れる。	予習：前回授業で示した予習課題に取り組む。復習：見学レポートに取り組む。	40分
14回 大久保	ゆかた、手ぬぐいを手掛けるデザイナーの仕事を知る。（ゲストスピーカーによる講義）手ぬぐい図案のプレゼンと講評。	予習：前回授業で示した予習課題に取り組む。復習：授業時に示す課題に取り組む。	40分
15回 大久保	東京本染注染の特色、魅力を伝える情報発信あるいは商品企画の提案の素案をプレゼンし、相互に意見交換を行う。	予習：最終課題の概要を準備する。復習：最終課題提出。	120分

服飾文化演習 B

梅谷 知世

服飾文化学科 3年 後期 選択必修（1単位 演習）

■授業の方針・概要

服飾や染織を歴史的・文化的視点から研究する方法には、文献調査、図像調査、実物調査、フィールドワークなどさまざまな方法があります。この演習では、日本の服飾と染織を対象とする研究方法や視点について、先行研究の読解を通して学びます。その上で、各自が設定した日本の服飾文化・染織文化に関するテーマに関し、資料の収集・検討、報告を行い、研究を深めていきます。さらに、その成果を研究レポートにまとめることを目指します。

■到達目標（学修成果）

- ①日本の服飾文化・染織文化の研究方法について理解する。
- ②自身のテーマを設定し、それに沿って資料収集・検討、発表を行い、レポート執筆に結びつけることができる。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

服飾文化学科の選択必修科目で、卒業認定科目です。

■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

各自の研究の過程と発表について、授業内でコメントを行います。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	0%
外部評価・検定試験結果	0%

■教科書

使用しません。テーマに応じてプリントを配布します。

■参考文献

授業時に紹介します。

■オフィスアワー・研究室

初回授業でお知らせします。

■備考

この演習を履修する方は、前期に「近代日本モード史」を受講することが望ましいです。

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 梅谷	ガイダンス 演習の進め方	演習の進め方について確認する。	30分
2回 梅谷	図書館ガイダンス	図書館HPを確認する。	60分
3回 梅谷	研究論文購読①	研究論文を熟読する。	60分
4回 梅谷	研究論文購読②	研究論文を熟読する。	60分
5回 梅谷	研究論文購読③	研究論文を熟読する。	60分
6回 梅谷	各自のテーマ検討	各自のテーマ設定を検討する。	60分
7回 梅谷	各自のテーマ設定	各自のテーマに関する資料の収集・検討	60分
8回 梅谷	文献資料、図像資料の調べ方	各自のテーマに関する資料の収集・検討	60分
9回 梅谷	実物資料の調べ方、フィールドワークの方法	各自のテーマに関する資料の収集・検討	60分
10回 梅谷	発表準備	発表用レジュメの準備	60分
11回 梅谷	各自の発表とディスカッション	授業後に授業内容を復習し理解を定着させる。	60分
12回 梅谷	各自の発表とディスカッション	授業後に授業内容を復習し理解を定着させる。	60分
13回 梅谷	各自の発表とディスカッション	授業後に授業内容を復習し理解を定着させる。	60分
14回 梅谷	研究レポートの書き方	レポートをまとめる。	60分
15回 梅谷	まとめ	演習の内容を振り返り、卒業論文計画につなげる。	60分

服飾文化造形演習 B

菅野 ももこ

服飾文化学科 3年 後期 選択必修 (1単位 実験実習)

■授業の方針・概要

様々な国や地域、時代によって異なる衣服の形を理解するためには、衣服について多角的に学ぶ必要があります。また、理解したことを他者に伝えるために、情報を整理することは、より深い学びに繋がります。本授業では、前年度および本年度前期のレプリカ製作での授業で製作したレプリカを基に、服飾の文化ならびにその造形について学びを深めます。

■到達目標（学修成果）

衣服の文化とその造形について幅広い視野をもって学ぶことができる。情報を収集し整理する術を身に付け理解を深めることができる。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

本科目は卒業要件科目です。演習授業です。

■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

授業内容に応じて用意する課題レポートについては、添削やコメントを付して対面で返却します。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	%
外部評価・検定試験結果	%

■教科書

なし

■参考文献

必要に応じて授業内で紹介します。

■オフィスアワー・研究室

初回授業でお知らせします。

■備考

状況により、日程や内容を変更する場合があります。

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 菅野	オリエンテーション	予習：シラバスの確認	30分
2回 菅野	「レプリカ製作（民族衣装）」の製作物について① 展示を想定した解説文の作成	復習：授業を振り返り、授業内で取り組んだ課題について考える	30分
3回 菅野	「レプリカ製作（民族衣装）」の製作物について① 展示を想定した画像データの整理	復習：授業を振り返り、授業内で取り組んだ課題について考える	30分
4回 菅野	「レプリカ製作（民族衣装）」の製作物について② 展示を想定した解説パネルの造作	復習：授業を振り返り、授業内で取り組んだ課題について考える	30分
5回 菅野	「レプリカ製作（歴史衣装）」の製作物について① －19世紀半ばの女性衣装の形態的特徴－	復習：授業を振り返り、授業内で取り組んだ課題について考える	30分
6回 菅野	ディスカッションと小レポート作成	復習：授業を振り返り、授業内で取り組んだ課題について考える	30分
7回 菅野	「レプリカ製作（歴史衣装）」の製作物について② －19世紀半ばの女性衣装の形に込められた社会的意義－	復習：授業を振り返り、授業内で取り組んだ課題について考える	30分
8回 菅野	ディスカッションと小レポート作成	復習：授業を振り返り、授業内で取り組んだ課題について考える	30分
9回 菅野	「レプリカ製作（歴史衣装）」の製作物について③ －17世紀の男性衣装の形態的特徴－	復習：授業を振り返り、授業内で取り組んだ課題について考える	30分
10回 菅野	ディスカッションと小レポート作成	復習：授業を振り返り、授業内で取り組んだ課題について考える	30分
11回 菅野	「レプリカ製作（歴史衣装）」の製作物について④ －17世紀の男性衣装の形に込められた社会的意義－	復習：授業を振り返り、授業内で取り組んだ課題について考える	30分
12回 菅野	ディスカッションと小レポート作成	復習：授業を振り返り、授業内で取り組んだ課題について考える	30分
13回 菅野	実物資料鑑賞と鑑賞シートの作成①	復習：授業を振り返り、授業内で取り組んだ課題について考える	30分
14回 菅野	実物資料鑑賞と鑑賞シートの作成②	復習：授業を振り返り、授業内で取り組んだ課題について考える	30分
15回 菅野	実物資料をもとに学ぶことの意味についてディスカッション (アクティブラーニング)	復習：授業を振り返り、授業内で取り組んだ課題について考える	30分

衣服修復技術

鈴木 史子

服飾文化学科 3年 後期 必修 (2単位 講義)

■授業の方針・概要

衣服は近年文化財としての価値が確立し、ファッションの展覧会の開催やそのものの保存研究が盛んにおこなわれ始めています。本科目では、平面構成の衣服やタペストリー等の染織品とは違う半立体的な洋服の修復・補修技術を学びながら文化財の保存・公開の必要性を包括的に学修します。

講義形式で進めますが、修復体験としてディスカッションと実習をおこないます。

■到達目標（学修成果）

洋服の修復について理解を深める。修復計画を提示できるようになる。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

この科目は服飾文化学科の専門必修科目です。

■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

授業内の提出物は次の授業時間にフィードバックします。授業時間外の質問はメールかオフィスアワーで受け付けます。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	10%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	50%
外部評価・検定試験結果	10%

■教科書

なし。

■参考文献

必要に応じて授業内で紹介します。

■オフィスアワー・研究室

初回授業でお知らせします。

■備考

授業の進捗により授業計画が変動する可能性があります。授業では毎回簡単な意見の提案や質問の投げかけをします。

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 鈴木	オリエンテーション、修復・補修の解説。	予習：シラバスで授業内容の確認。	30分
2回 鈴木	補修技術Ⅰ 補修技術の種類・複数人で修復方針を決める必要性の解説。	復習：補修技術の種類をまとめる。	30分
3回 鈴木	補修技術Ⅱ 具体的な補修技術の説明。	予習：ステッチの種類と刺し方を知っておく。	30分
4回 鈴木	天然繊維と化学繊維の修復Ⅰ-1（絹）修復に用いる道具・絹が使用されている資料の紹介。	予習：西洋服飾史における各時代の素材の流行を把握しておく。	30分
5回 鈴木	天然繊維と化学繊維の修復Ⅰ-2（植物繊維） 木綿・ウールが使用されている資料の紹介。絹との差異について。	復習：天然繊維の修復について授業内容をまとめる。	60分
6回 鈴木	天然繊維と化学繊維の修復Ⅱ（ナイロンからゴミ）アーティストが新素材を用いて生み出した作品について。	予習：現代作品で使われている化学繊維や素材を調べて授業で意見できるようにしておく。	60分
7回 鈴木	資料の保存方法 資料へのアクセスし易さの重要性和劣化進行の解説。	復習：前回授業と合わせて化学的な素材に対する授業内容と保存方法についてまとめる。	40分
8回 鈴木	IPMの説明、防虫の必要性Ⅰ 対処ではなく予防の大切さ。	予習：（文化財だけでなく）害虫の印象を発言できるようにしておく。	30分
9回 鈴木	IPM、防虫の必要性Ⅱ 実際にどのような場所でどのようなIPMが行なわれているか、前回も含めディスカッション。	復習：各自の普段利用する施設でIPMがなされているのか注意を向ける。	60分
10回 鈴木	修復と展示の関係 着装展示と平置き展示の違い、露出展示とケース展示のメリットデメリットを解説。	予習：アパレルの販売店とミュージアムの衣装展示の違いを考察する。	45分
11回 鈴木	服飾資料の着せ付け 年代ごとの体型の違いと必要な作業の説明。	予習：西洋服飾史における各時代のスタイルを把握しておく。	30分
12回 鈴木	復元の必要性 研究・展示・保存のそれぞれの観点、ディスカッション。	復習：復元の必要性について見解をまとめる	50分
13回 鈴木	修復体験Ⅰ 提示された作品の修復計画を提案。	復習：授業で提案した計画をまとめる	60分
14回 鈴木	修復体験Ⅱ 地の目通しを体験。	復習：地の目通しを完成させる	60分
15回 鈴木	各自修復計画発表、講評、まとめ	予習：プレゼン準備	60分

インターンシップ

笹部 小百合

服飾文化学科 3年 前期又は後期 選択 (2単位 実験実習)

■授業の方針・概要

専門コースを選択したことにより、将来の目標が明確になってきたと思います。卒業後の仕事について確認し、今後の授業の取り組みを見据えるために大切な体験になります。

インターンシップ(就労体験)を通して、専門分野に関連する実務体験を企業で体験・学修します。実務能力を高め、企業で必要とされる能力を感じ取ることで、卒業後の就職に対する意欲と学内での学修をより深く理解することができます。企業でのインターンシップ生教習実務経験を基に指導し、自ら社会で活躍できる人材になろうとする意識強化を目指します。

■到達目標(学修成果)

学内授業では得られない就労体験を行うことで、社会人としての基礎やマナー、ビジネススタンスを身に付けます。さらに、自分の適性を見極め、将来の就職に生かせる理解と能力を養うことを目標とします。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

この科目は、専門選択科目の卒業要件科目です。将来の就職に向けて仕事を理解するための選択科目です。

■フィードバック(試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用)方法

研修日誌による毎日の提出内容の企業研修先による講評、グループワーク・課題や最終報告書・報告会による講評を授業内やメール、ポータルサイトからフィードバックします。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	%
外部評価・検定試験結果	%

■教科書

なし

■参考文献

社会人常識マナー検定テキスト 2・3級 株式会社エディプレス 清水書院

■オフィスアワー・研究室

オフィスアワー：第1回目の授業で指示します。

研究室：インダストリアルパターン研究室(第3校舎2階 3211)

■備考

実務時期、期間：2・3年生夏休み(評価は前期少し遅れて反映)または2・3年生春休み(評価は後期少し遅れて反映)で10日以上～12日以内。研修内容、地域：企業により異なる。地域は主に首都圏および各県。成績評価：事前授業や事後報告10%、研修日誌や報告書20%、報告会プレゼン20%、企業での就労態度や実務評価50%

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間
1回	オリエンテーション：事前授業によるカリキュラムとスケジュール、目的、内容説明、研修について(グループワーク)	予習：企業や研修先について研究する 自己紹介を考える	90分
2回	面談：研修先企業や職種について就職部職員との面談	予習：履歴書を作成する	60分
3回	事前授業：研修の心得とマナー等について	復習：講義について振り返る	30分
4回	企業研修：企業の現場で与えられた課題に取り組む	復習：研修日誌を書く	30分
5回	企業研修：企業の現場で与えられた課題に取り組む	復習：研修日誌を書く	30分
6回	企業研修：企業の現場で与えられた課題に取り組む	復習：研修日誌を書く	30分
7回	企業研修：企業の現場で与えられた課題に取り組む	復習：研修日誌を書く	30分
8回	企業研修：企業の現場で与えられた課題に取り組む	復習：研修日誌を書く	30分
9回	企業研修：企業の現場で与えられた課題に取り組む	復習：研修日誌を書く	30分
10回	企業研修：企業の現場で与えられた課題に取り組む	復習：研修日誌を書く	30分
11回	企業研修：企業の現場で与えられた課題に取り組む	復習：研修日誌を書く	30分
12回	企業研修：企業の現場で与えられた課題に取り組む	復習：研修日誌を書く	30分
13回	企業研修：企業の現場で与えられた課題に取り組む	復習：研修日誌を書く	30分
14回	事後授業：企業研修の振り返り(グループワーク) 報告会に向けてのプレゼンテーション資料準備	復習：報告書作成と報告会に向けての準備	90分
15回	事後報告：報告書、研修日誌の提出と報告会でのプレゼンテーション(学修成果と得られた技術を含む)および講評	復習：報告会での講評を振り返り、今後の学修に役立てる	30分

長期インターンシップ

笹部 小百合

服飾文化学科 3年 前期 選択 (4単位 実験実習)

■授業の方針・概要

専門コースを選択したことにより、将来の目標が明確になってきたと思います。卒業後の仕事について確認し、今後の授業の取り組みを見据えるために大切な体験になります。

インターンシップ(就労体験)を通して、専門分野に関連する実務体験を企業で体験・学修します。実務能力を高め、企業で必要とされる能力を感じ取ることで、卒業後の就職に対する意欲と学内での学修をより深く理解することができます。企業でのインターンシップ生教習実務経験を基に指導し、自ら社会で活躍できる人材になろうとする意識強化を目指します。

■到達目標(学修成果)

学内授業では得られない就労体験を行うことで、社会人としての基礎やマナー、ビジネススタンスを身に付けます。さらに、自分の適性を見極め、将来の就職に生かせる理解と能力を養うことを目標とします。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

この科目は、専門選択科目の卒業要件科目です。将来の就職に向けて仕事を理解するための選択科目です。

■フィードバック(試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用)方法

研修日誌による毎日の提出内容の企業研修先による講評、グループワーク・課題や最終報告書・報告会による講評を授業内やメール、ポータルサイトからフィードバックします。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	%
外部評価・検定試験結果	%

■教科書

なし

■参考文献

社会人常識マナー検定テキスト 2・3級 株式会社エディプレス 清水書院

■オフィスアワー・研究室

オフィスアワー：第1回目の授業で指示します。

研究室：インダストリアルパターン研究室(第3校舎2階 3211)

■備考

実務時期、期間：2・3年生夏休み(評価は前期少し遅れて反映)または2・3年生春休み(評価は後期少し遅れて反映)で20日以上～24日以内。研修内容、地域：企業により異なる。地域は主に首都圏および各県。成績評価：事前授業や事後報告10%、研修日誌や報告書20%、報告会プレゼン20%、企業での就労態度や実務評価50%

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間
1回	オリエンテーション：事前授業によるカリキュラムとスケジュール、目的、内容説明、研修について(グループワーク)	予習：企業や研修先について研究する 自己紹介を考える	90分
2回	面談：研修先企業や職種について就職部職員との面談	予習：履歴書を作成する	60分
3回	事前授業：研修の心得とマナー等について	復習：講義について振り返る	30分
4回	企業研修：企業の現場で与えられた課題に取り組む	復習：研修日誌を書く	30分
5回	企業研修：企業の現場で与えられた課題に取り組む	復習：研修日誌を書く	30分
6回	企業研修：企業の現場で与えられた課題に取り組む	復習：研修日誌を書く	30分
7回	企業研修：企業の現場で与えられた課題に取り組む	復習：研修日誌を書く	30分
8回	企業研修：企業の現場で与えられた課題に取り組む	復習：研修日誌を書く	30分
9回	企業研修：企業の現場で与えられた課題に取り組む	復習：研修日誌を書く	30分
10回	企業研修：企業の現場で与えられた課題に取り組む	復習：研修日誌を書く	30分
11回	企業研修：企業の現場で与えられた課題に取り組む	復習：研修日誌を書く	30分
12回	企業研修：企業の現場で与えられた課題に取り組む	復習：研修日誌を書く	30分
13回	企業研修：企業の現場で与えられた課題に取り組む	復習：研修日誌を書く	30分
14回	事後授業：企業研修の振り返り(グループワーク) 報告会に向けてのプレゼンテーション資料準備	復習：報告書作成と報告会に向けての準備	90分
15回	事後報告：報告書、研修日誌の提出と報告会でのプレゼンテーション(学修成果と得られた技術を含む)および講評	復習：報告会での講評を振り返り、今後の学修に役立てる	30分

ショップディスプレイ

石井 健太

服飾文化学科 3年 後期 選択 (2単位 講義)

■授業の方針・概要

講師の実際の仕事例を紹介しながら、ショップディスプレイ／デザイン／マーケティングの考え方を学んでゆく。

■到達目標（学修成果）

ショップディスプレイとは企業戦略を視覚化する仕事。ショップの企画立案から実際の設計までを授業内で完成させる。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

専門選択科目の単位で卒業要件となります。「ショップディスプレイ」は、空間演出の基礎力とビジネスの基礎知識の向上に資する科目です。

■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

毎授業終了時にレポート。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	10%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	60%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	30%
外部評価・検定試験結果	0%

■教科書

なし

■参考文献

なし

■オフィスアワー・研究室

なし

■備考

なし

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 1	オリエンテーション	特になし	30分
2回 2	VMDとショップディスプレイ	特になし	30分
3回 3	ショップの原点の確認 モロッコ 明治日本 より	特になし	30分
4回 4	ショップの原点の確認 アメリカ 昭和日本 より	特になし	30分
5回 5	ショップの原点の確認 トルコ より	特になし	30分
6回 6	世界の百貨店の成り立ちの確認 フランスより	特になし	30分
7回 7	ショップの企画書作成	これまでの授業内容の確認 なかった分のレポート作成	授業内に完成でき 30分
8回 8	ショップの企画書作成	これまでの授業内容の確認 なかった分のレポート作成	授業内に完成でき 30分
9回 9	ショップの図面作成	これまでの授業内容の確認 なかった分のレポート作成	授業内に完成でき 30分
10回 10	ショップの図面作成	これまでの授業内容の確認 なかった分のレポート作成	授業内に完成でき 30分
11回 11	商品ディスプレイプランの作成	これまでの授業内容の確認 なかった分のレポート作成	授業内に完成でき 30分
12回 12	イメージパース作成	これまでの授業内容の確認 なかった分のレポート作成	授業内に完成でき 30分
13回 13	イメージパース作成	これまでの授業内容の確認 なかった分のレポート作成	授業内に完成でき 30分
14回 14	発表	これまでの授業内容の確認 なかった分のレポート作成	授業内に完成でき 30分
15回 15	発表 総評	これまでの授業内容の確認 なかった分のレポート作成	授業内に完成でき 30分

PRコミュニケーション論

服飾文化学科 3年 前期 選択 (2単位 講義)

■授業の方針・概要

本講義を通じて、社会におけるメディアの果たす重要性を理解し、基本的なメディア・リテラシーやビジネスに必要なメディアコミュニケーションについて習得をする。

「ファッション」＝「衣、食、住、遊、知」に必要とされる今、メディアコミュニケーションの利活用を考察する講義を組み立てる。その為に社会で活躍するファッションビジネスやメディア・アートに関わるプロフェッショナルな専門家を特別講師として招聘し、ビジネスに必要なブランド構築に必要な実践的なノウハウ等を理解せしめる。

■到達目標（学修成果）

- ①社会に必要なとされる基本的なメディア・コミュニケーション並びに戦略的なブランド構築の知識を習得する。
- ②さらにファッションビジネス界でメディアやアートを活用した成功例を検証しつつ、メディアデザインの現状とブランディング戦略、それに必要なコミュニケーションスキルを学び、知識を習得することを目標とする。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

専門選択科目で卒業要件科目となり、ファッション業界で必要とされ活躍できる人材になるよう学修する科目です。

■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

授業内に提出した課題について解説と講評をします。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	0%
外部評価・検定試験結果	0%

■教科書

授業時に指示しますから、購入するなどの準備をする必要はありません。

■参考文献

あらゆる関連書籍や新聞から、メディアやコミュニケーション、ブランド戦略、アートに関する知識を習得してください。

■オフィスアワー・研究室

出講日：金曜日（前期） 連絡先：教務課（本校舎1階）

■備考

専門外も、質問や相談にのりますから、困ったことがあったら連絡ください。
但しすべて解決できるということではありません。お互いに解決策を見つけていきましょう。

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 渡邊	オリエンテーション、講師自己紹介、授業計画の説明	予習：シラバスを熟読し、その重要性に関し、認識する	30分
2回 渡邊	高度情報化社会に必要なとされるメディア・リテラシー	復習：配布資料や授業時に使用したレポートの読み返し	30分
3回 渡邊	メディアコミュニケーションの社会に果たす役割	復習：配布資料や授業時に使用したレポートの読み返し	30分
4回 渡邊	ブランド戦略	復習：配布資料や授業時に使用したレポートの読み返し	30分
5回 渡邊	メディア・コミュニケーションにおけるデジタルメディア	復習：配布資料や授業時に使用したレポートの読み返し	30分
6回 渡邊	ファッションビジネスにおけるメディアコミュニケーションの重要性について	復習：配布資料や授業時に使用したレポートの読み返し	30分
7回 渡邊	進化し続けるコミュニケーションツール	復習：配布資料や授業時に使用したレポートの読み返し	30分
8回 渡邊	ファッションディレクターの視点 ファッションメディアにおけるアートとデザインの融合	復習：配布資料や授業時に使用したレポートの読み返し	30分
9回 渡邊	メディアコミュニケーションにおける危険性	復習：配布資料や授業時に使用したレポートの読み返し	30分
10回 渡邊	TV業界におけるメディアコミュニケーション	復習：配布資料や授業時に使用したレポートの読み返し	30分
11回 渡邊	PRと宣伝	復習：配布資料や授業時に使用したレポートの読み返し	30分
12回 渡邊	広告代理店におけるメディアコミュニケーションの実践	復習：配布資料や授業時に使用したレポートの読み返し	30分
13回 渡邊	ITビジネスとメディアコミュニケーション	復習：配布資料や授業時に使用したレポートの読み返し	30分
14回 渡邊	社会で台頭しつつあるメディアアート＆アーティスト	講義中に数度提出した資料を全て読み返す	45分
15回 渡邊	まとめ：これまでの講義のフィード・バックを行う	講義中に数度提出した資料を読み返す	45分

ファッション画（CG）

福地 宏子

服飾文化学科 3年 後期 選択 （1単位 実験実習）

■授業の方針・概要

Illustrator/Photoshopを使用したPCによる演習を行います。アイデアを図形や画像を使用して形にできる様に、柔軟な発想力を学びます。テキストを意識した素材制作やハンガーイラストの制作、線画への着彩方法、テーマに合わせたオリジナリティのある課題制作を行います。

■到達目標（学修成果）

Illustrator/Photoshopの基本操作を身に付け、ソフトの特徴を活かした作品を制作できる。
自身のファッション表現の可能性を広げる。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

卒業要件科目の専門選択科目の単位となります。ディプロマポリシーでは、服飾関係の専門的職業で活かせるような表現力や、豊かな発想力の向上に資する科目です。

■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

提出した課題には評価やコメント記入をして振り返りが行えるように返却する。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	0%
外部評価・検定試験結果	0%

■教科書

なし

■参考文献

授業内で適宜紹介する

■オフィスアワー・研究室

【オフィスアワー】第1回目の授業時に指示する

【研究室】ファッション画研究室 研究棟2階 6025

■備考

- ・進捗により授業計画が変更になる場合もある
- ・学生へのインフォメーションはポータルサイトを利用します

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 各自	【Illustrator/Photoshop】・基本操作・ツールの説明と実践	【復習】操作方法や説明等を振り返る	30分
2回 各自	【Illustrator】ペンツールによるパスの操作 ハンガーイラスト①(ジャケット、パンツ等)	【復習】操作方法や説明等を振り返る	30分
3回 各自	【Illustrator】ペンツールによるパスの操作 ハンガーイラスト②（ニットウェア等）	【復習】操作方法や説明等を振り返る	30分
4回 各自	【Illustrator】パターン柄の制作 (様々なツールの説明と実践も含む)	【復習】自身の課題を振り返る	30分
5回 各自	【Photoshop】ハンガーイラストへの素材ペースト① 画像の加工(フィルター、色調補正 等)	【予習】アイテムに合った素材をリサーチ、資料収集	30分
6回 各自	【Photoshop】ハンガーイラストへの素材ペースト②	【復習】自身の課題を振り返る	30分
7回 各自	【Illustrator/Photoshop】 個展、展示会を想定したDM制作①	【予習】テーマ、イメージに合わせた資料収集	30分
8回 各自	個展、展示会を想定したDM制作②	【予習】テーマ、デザインイメージを事前にまとめておく、資料収集	30分
9回 各自	個展、展示会を想定したDM制作③	【復習】自身の課題を振り返る	30分
10回 各自	【Illustrator/Photoshop】 テーマに合わせたスタイル画表現①	【予習】テーマ、イメージに合わせた資料収集	30分
11回 各自	テーマに合わせたスタイル画表現②	【予習】テーマ、デザインイメージを事前にまとめておく、資料収集	30分
12回 各自	テーマに合わせたスタイル画表現③	【復習】自身の課題を振り返る	30分
13回 各自	【Illustrator/Photoshop】 テーマに合わせたオリジナルの作品制作①	【予習】テーマ、イメージに合わせた資料収集	30分
14回 各自	テーマに合わせたオリジナルの作品制作②	【予習】テーマ、デザインイメージを事前にまとめておく、資料収集	30分
15回 各自	テーマに合わせたオリジナルの作品制作③	【復習】自身の課題を振り返る	30分

染織史

大久保 尚子

服飾文化学科 3年 前期 選択 (2単位 講義)

■授業の方針・概要

日本の染織技法の種類と歴史的展開を、意匠との関係、海外との影響関係にも注目して学習します。各時代に特徴的な染織意匠を文化的背景とともに紹介します。映像資料と実物資料を提示し技法、意匠の特色を体験的に学習し、展覧会見学を通し知識に基づく作品理解を深めます。

■到達目標（学修成果）

・歴史上にみられる染織技法について、技法による表現効果の違い、意匠との関係に注目して理解し、自ら具体的な作品例をとりあげ技法と意匠の特徴について説明できる。
・意匠と同時代文化との関係について理解を深め、授業で示した資料を活用し説明することができる。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

この科目は、専門選択科目の卒業要件科目です。また、学芸員資格取得のための学芸員課程必修科目です。

■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

授業時の課題やレポート提出等に学内システムを活用します。博物館見学時の連絡等にメールを使用する場合があるため担当者のアドレスを授業時にお知らせします。課題等のフィードバックは基本的に授業の中で行います。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	20%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	30%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	50%
外部評価・検定試験結果	0%

■教科書

教科書は用いず、配布資料プリントによって授業を進めます。

■参考文献

小笠原小枝『染と織の鑑賞基礎知識』至文堂1998年、河上繁樹、藤井健三『織りと染めの歴史』昭和堂1999年 その他授業の中で示します。

■オフィスアワー・研究室

前期：なし 連絡先：本校舎一階教務課 後期 授業のある金曜日（14時～14時30分）第3校舎講師控え室

■備考

博物館見学の実施回は、状況により変更する場合があります。詳細は授業時に指示します。

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 大久保	染織（テキスタイル）の歴史と現代の服飾の関係（ディスカッション）/手仕事と機械工業/「織り」の技法「染め」の技法	予習：シラバスを読む。復習：授業時に示す復習課題に取り組む	40分
2回 大久保	日本の染織技法の種類と歴史 織の技法① 天然素材による糸、織機の仕組み 織物の基本組織	予習：初回配布資料の指定箇所を読む。復習：課題に取り組む。	30分
3回 大久保	日本の染織技法の種類と歴史 織りの技法② 綾、羅、錦 / 正倉院の染織品にみる唐風の受容	予習：初回配布資料の指定箇所を読む。復習：課題に取り組む。	30分
4回 大久保	日本の染織技法の種類と歴史 織の技法③ 縫い取り織（二階織物、唐織）、縹子織（縹子、縹子）/有職織物と名物裂	予習：初回配布資料の指定箇所を読む。復習：課題に取り組む。	30分
5回 大久保	日本の染織技法の種類と歴史 織の技法④ 緋、縹、縹 / 近世における外来染織の受容	予習：初回配布資料の指定箇所を読む。復習：課題に取り組む。	30分
6回 大久保	日本の染織技法の種類と歴史 染めの技法① 描絵、摺絵、絞り染め、板締め/天然染料の染色、江戸時代小袖の復元	予習：初回配布資料の指定箇所を読む。復習：課題に取り組む。	30分
7回 大久保	日本の染織技法の種類と歴史 染めの技法② 糊防染①型染（小紋、中形）/ジャポニスムと染色型紙	予習：初回配布資料の指定箇所を読む。復習：課題に取り組む。	30分
8回 大久保	日本の染織技法の種類と歴史 染めの技法③ 蠟防染（縹縹、更紗）、糊防染②友禅染め/更紗のグローバルな影響	予習：初回配布資料の指定箇所を読む。復習：課題に取り組む。	30分
9回 大久保	日本の染織技法の種類と歴史 博物館見学① 染織作品の実地見学	予習：展示資料情報、特に技法について確認。復習：見学レポートに取り組む。	40分
10回 大久保	日本の染織技法の種類と歴史 博物館見学② 染織作品の実地見学。質疑応答と見学レポート	予習：展示資料情報、特に技法について確認。復習：見学レポートに取り組む。	40分
11回 大久保	日本の染織技法の種類と歴史まとめ 日本の染織の歴史展開、服飾史との関係/技法と意匠の関係/染織技術の近代化	予習：これまでの資料に再度目を通す。復習：課題に取り組む。	30分
12回 大久保	近世の染織意匠① 友禅風意匠と友禅染の成立	予習：配布資料指定箇所を読む。復習：課題に取り組む。	30分
13回 大久保	近世の染織意匠② 光琳文様と琳派の意匠	予習：配布資料指定箇所を読む。復習：課題に取り組む。	30分
14回 大久保	近世の染織意匠③ 山東京伝の見立て小紋と江戸の意匠	予習：配布資料指定箇所を読む。復習：課題に取り組む。	30分
15回 大久保	近代の染織と意匠 染織技術革新と意匠・ジャポニスムとヨーロッパのデザイン運動・日本のデザイン運動 まとめ	予習：配布資料指定箇所を読む。復習：課題に取り組む。	30分

ファッションプレゼンテーション演習

児島 やよい

服飾文化学科 3年 前期 選択 (2単位 演習)

■授業の方針・概要

授業担当者の約30年に渡る現代美術やデザインをカバーするキュレーター、ライターとしての実務経験を踏まえて、美術館、ギャラリーや多様な展示施設での他ジャンルの展示会の事例を提示、見学、解説します。見学の際には担当学芸員やアーティストなどとも対話する機会を設ける予定です。それに基づきグループワークやディスカッションを行い、創造に活かす視点を学びます。各自で、及びグループワークで展示会企画を構想、プレゼンする演習により、説得力のある企画、プレゼンテーションの方法を身に付けることを目指します。

■到達目標（学修成果）

展示会や関連プログラムのリサーチから企画、実施までの過程を知り、展示によっていかに新鮮な主張を発信するかを学ぶ。実務を知り、多様な展示会を見学・考察することで、「展示会を企画」する基本的なプロセスを理解する。キュレーターとしての構想力、研究・分析の成果から新たな視点を活かし具体化する体験を通して、ファッションの分野につながる企画、プレゼンテーションの方法を身に付ける。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

この科目は、専門選択科目の卒業要件科目です。また、学芸員資格取得のための学芸員課程の必修科目です。

■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

学内システムによりレポート課題及びプレゼン課題についてポイントを解説する。今後の課題、次回見学、授業の内容を掲示する。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	30%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	40%
外部評価・検定試験結果	0%

■教科書

特に指定しない

■参考文献

授業時に指示する

■オフィスアワー・研究室

欠席・遅刻の連絡、授業についての質問等はメール、学内システムにて随時受け付ける。その他必要な場合は教務部まで。

■備考

成績表について ①中間及び期末課題提出・プレゼン ②展示会見学レポート（全10本程度）③授業姿勢・参加度の順に重要視します。展示会見学への参加が必須となり、学期を通して入館料と交通費がかかります（全部で5～6千円の予定。入館料の負担は極力少なくします）。止むを得ず見学を欠席する場合は代替の課題を出すので必ず相談して下さい。

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 児島	オリエンテーション①授業計画 ②中間、期末課題について ③展示会見学について。各自小レポート発表。	予習：①これまで鑑賞した展示会について②興味のあるテーマについて考えをまとめておく。	30分
2回 児島	「展示会というプレゼンテーション」。展示会見学	復習：展示会見学レポートを書く	60分
3回 児島	「展示会の企画から実施まで」。展示会見学	復習：展示会見学レポートを書く	60分
4回 児島	「ファッションの展示会、プレゼンテーションの実例」。展示会見学	復習：展示会見学レポートを書く	60分
5回 児島	「さまざまな展示の手法、最新の傾向について」。展示会見学	復習：展示会見学レポートを書く	60分
6回 児島	「企画書を書く」。展示会見学	復習：展示会見学レポートを書く	60分
7回 児島	中間課題プレゼン（各自で展示会を構想・企画、プレゼン）の準備。	復習：中間課題プレゼンを仕上げる。	90分
8回 児島	中間課題プレゼンと講評。展示会見学	復習：展示会見学レポートを書く	60分
9回 児島	期末課題プレゼン（グループワーク）に向けてディスカッション。	復習：期末課題プレゼンの準備。	60分
10回 児島	「展示会をめぐる教育・関連イベント、広報などのプログラム」。展示会見学	復習：展示会見学レポートを書く	60分
11回 児島	「企画の意義、説得力について考える」。展示会見学	復習：展示会見学レポートを書く。期末課題プレゼンの中間発表を準備。	60分
12回 児島	期末課題プレゼン（グループワーク）の中間発表。展示会見学	復習：展示会見学レポートを書く	60分
13回 児島	「ファッションとプレゼンテーション」。展示会見学	復習：展示会見学レポートを書く。期末課題プレゼンを仕上げる。	90分
14回 児島	期末課題プレゼン（グループワーク）。講評、ディスカッション。展示会見学	復習：展示会見学レポートを書く	60分
15回 児島	「展示会見学を通して学んだこと、発見、気づきについて」。ディスカッション。学期まとめ。	復習：各自、学期のまとめ	60分

ドレーピング&パターンメイキング (選)

高橋 彩香

服飾文化学科 3年 前期 選択 (1単位 実験実習)

■授業の方針・概要

コースに関係なく、ドレーピング&パターンメイキングを学びたい学生を対象に開講する。基礎の復習をしながらドレーピング・パターンメイキングのどちらかの手法でパターン・トワルを作る。
パターンメーカーの実務経験・体験談を織り交ぜた講義実習を行う。
受講学生の能力に合わせて内容の変更も有る。

■到達目標 (学修成果)

基本理論と基本技術の復習と、立体と平面とを兼ね合いをつかんで立体的な服の見方を学び応用へと発展させる。より自由なデザインをドレーピング、またはパターンメイキングで形にしていけることが可能になる。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

ファッション業界で活躍できる専門力向上に資する選択科目である。

■フィードバック (試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用) 方法

授業内で課題を点検し、その場で学生に対して個別指導を行う

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	0%
外部評価・検定試験結果	0%

■教科書

立体裁断 「基本理論」
立体裁断 「基本理論から応用」

小山千暁 他著
小山千暁 他著

(有) c f k 1 9 9 1
(有) c f k 1 9 9 1

■参考文献

『工業用パターンガイドブック』

小山千暁 他著

(株)アミコファッションズ

■オフィスアワー・研究室

第2校舎2402教室 金曜日 13:00~14:30

【研究室】ドレーピング&パターンメイキング研究室 (第3校舎1階 3106教室)

■備考

授業に必要なテキスト・道具・天竺などの準備は必ず時間前に用意すること。

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容 (予習・復習等)	必要時間
1回 高橋	【実習】ギャザーを使用したスカートのドレーピング	予習：天竺90cm×2枚用意	30分
2回 高橋	【実習】ギャザーを使用したスカートのドレーピング	予習：天竺90cm×2枚用意	30分
3回 高橋	【実習】オリジナルデザインのドレーピングまたはパターンメイキング ブラウス	授業進度に合わせて作業進行	30分
4回 高橋	【実習】オリジナルデザインのドレーピングまたはパターンメイキング ブラウス	授業進度に合わせて作業進行	30分
5回 高橋	【実習】オリジナルデザインのドレーピングまたはパターンメイキング ブラウス	授業進度に合わせて作業進行	30分
6回 高橋	【実習】オリジナルデザインのドレーピングまたはパターンメイキング ブラウス	授業進度に合わせて作業進行	30分
7回 高橋	【実習】オリジナルデザインのドレーピングまたはパターンメイキング ワンピース	授業進度に合わせて作業進行	30分
8回 高橋	【実習】オリジナルデザインのドレーピングまたはパターンメイキング ワンピース	授業進度に合わせて作業進行	30分
9回 高橋	【実習】オリジナルデザインのドレーピングまたはパターンメイキング ワンピース	授業進度に合わせて作業進行	30分
10回 高橋	【実習】オリジナルデザインのドレーピングまたはパターンメイキング ワンピース	授業進度に合わせて作業進行	30分
11回 高橋	【実習】オリジナルデザインのドレーピングまたはパターンメイキング ワンピース	授業進度に合わせて作業進行	30分
12回 高橋	【実習】オリジナルデザインのドレーピングまたはパターンメイキング デイリーユーズな服	授業進度に合わせて作業進行	30分
13回 高橋	【実習】オリジナルデザインのドレーピングまたはパターンメイキング デイリーユーズな服	授業進度に合わせて作業進行	30分
14回 高橋	【実習】オリジナルデザインのドレーピングまたはパターンメイキング デイリーユーズな服	授業進度に合わせて作業進行	30分
15回 高橋	【まとめ】デイリーユーズな服の縫製仕様	授業進度に合わせて作業進行	30分

近代日本モード史

梅谷 知世

服飾文化学科 3年 前期 選択 (2単位 講義)

■授業の方針・概要

明治時代以降の日本では西洋文化の影響を受けて近代化が進められ、服飾についても同様であったが、洋服はすぐに普及したのではなく、少しずつ段階を踏んで浸透していった。欧米各国との対等な外交関係を目指し、明治初期から男性の公的な装いに洋装が採用される一方、多くの人びとはまず、和装の一部に西洋風を取り入れる和洋折衷形式を作り上げた。大正後期以降は職業婦人の増加等を背景に洋装女性も現われ、この時期に創設された洋裁学校は、第二次世界大戦後の洋装の普及に大きな役割を果たした。このような近代日本の服飾文化について、背景にある社会や文化の状況とともに解説する。

■到達目標（学修成果）

1. 日本人の衣生活に洋服がどのような経緯で取り入れられ浸透していったかを理解する。
2. 伝統的な美意識と西洋趣味の融合した近代の和装の展開について理解する。
3. 服飾を通して、近代日本社会のあり様や人々の精神性を理解する。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

この科目は専門選択科目の卒業認定科目です。

■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

授業内課題や期末レポートについて、授業時またはCampusMagic等でコメントを行います。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	20%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	30%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	50%
外部評価・検定試験結果	0%

■教科書

使用しません。授業の進行にあわせてプリントを配布します。

■参考文献

授業時に紹介します。

■オフィスアワー・研究室

初回授業でお知らせします。

■備考

近代日本の文学作品を読んだり、近代日本の絵画や工芸作品に触れたりする機会を持つよう心がけてください。

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 梅谷	ガイダンス	シラバスを確認し授業概要を理解する。	30分
2回 梅谷	明治時代の洋装① 幕末・文明開化期の洋風摂取	授業内容の振り返りを行い課題に取り組む。	90分
3回 梅谷	明治時代の洋装② 近代国家建設と洋服導入	授業内容の振り返りを行い課題に取り組む。	90分
4回 梅谷	明治時代の洋装③ フロックコートとハイカラ	授業内容の振り返りを行い課題に取り組む。	90分
5回 梅谷	明治時代の洋装④ 鹿鳴館時代の女性の洋装	授業内容の振り返りを行い課題に取り組む。	90分
6回 梅谷	和装の近代化① 束髪の広がり	授業内容の振り返りを行い課題に取り組む。	90分
7回 梅谷	和装の近代化② 洋装品をとり入れた和装	授業内容の振り返りを行い課題に取り組む。	90分
8回 梅谷	和装の近代化③ 女学生の袴姿	授業内容の振り返りを行い課題に取り組む。	90分
9回 梅谷	和装の近代化④ 明治・大正・昭和の着物文様	授業内容の振り返りを行い課題に取り組む。	90分
10回 梅谷	和装の近代化⑤ 百貨店による流行の創出	授業内容の振り返りを行い課題に取り組む。	90分
11回 梅谷	大正時代の洋装 女性の洋装の広がり	授業内容の振り返りを行い課題に取り組む。	90分
12回 梅谷	モダン都市文化とモダンガールの装い	授業内容の振り返りを行い課題に取り組む。	90分
13回 梅谷	戦時中の衣生活と戦後の洋裁文化	授業内容の振り返りを行い課題に取り組む。	90分
14回 梅谷	1960年代以降のファッションと社会	授業内容の振り返りを行い課題に取り組む。	90分
15回 梅谷	まとめ	これまでの授業内容の振り返りを行い、理解を深める。	120分

リテールビジネスにおけるVMDマネジメント

寺井 孝夫

服飾文化学科 3年 前期 選択 (2単位 講義)

■授業の方針・概要

- ・VMDをリテールビジネスにおける必須の一領域と捉え、基礎知識から実践まで体系的に学びます。百貨店で実務経験のある担当講師の経験談や実践事例に触れながら、より現場に即した知識を習得していただきます。
- ・一般的なVMDの基本はもちろん、人の習性、心理などの周辺の知識についても学んだ上で、実務演習を通じて実現性の高い発想力と提案力を養います。
- ・本科目ではグループワークを含むアクティブラーニングを実施します。

■到達目標（学修成果）

- ・VMDの意味と目的などの基礎知識、初歩的なレベルの実践力&マネジメント力の習得。
- ・実践演習を通じて、コンセプトシート、イメージMAP、ラフプラン、具体案まで、VMDプラン策定ができるレベルを目指します。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

この科目は卒業要件科目で、あらゆるファッションビジネスで活躍できる専門力向上に資する科目です。

■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

仮想店舗でのVMD計画を自身で策定し、演習成果物として提出いただきます。課題用紙はmanabaに掲載予定。希望者には返却。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	%
外部評価・検定試験結果	%

■教科書

指定教科書なし。適宜参考資料を配布。

■参考文献

必要に応じて適時ご案内します。

■オフィスアワー・研究室

出校日：水曜日 FB研究室：第4校舎 4階3402教室

■備考

なし

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 寺井	オリエンテーション 自己紹介、半期を通して知ってほしいこと、※参考動画視聴①	予習：シラバス確認 復習：この講義で学びたいこと整理	30分
2回 寺井	基本編① VMDの歴史、現状、今後 ※参考動画視聴②	予習：「VMD」をweb検索 復習：実際の店舗でVMDの確認	30分
3回 寺井	基本編② 基礎知識／VP、PP、IP 3つの場と役割	予習：「VP、PP、IP」をweb検索 復習：実際の店舗で3つの場を確認	30分
4回 寺井	基本編③ ヒトとVMD／基本モジュールとヒトの習性	予習：演習で用いるメジャーの準備 復習：実際の店舗で寸法の確認	30分
5回 寺井	基本編④ 客数UPの重要性とそのテクニック	予習：「客数」をweb検索 復習：実際の店舗でのテクニック事例の確認	30分
6回 寺井	基本編⑤ 品物に触ってもらえるテクニック	予習：「展開分類」をweb検索 復習：実際の店舗で「展開分類」を確認	30分
7回 寺井	基本編⑥ 売場空間の構成要素／什器の種類とデザイン面白さ	予習：「什器」をweb検索 復習：実際の店舗で様々な什器を確認	30分
8回 寺井	基本編⑦ 売場空間の構成要素／マネキン、トルソ、モチーフ	予習：「マネキン」をweb検索 復習：実際の店舗で「トルソ」使用例を確認	30分
9回 寺井	実践編① パワーラックを作る／トルソとラックでショーイングの実践	予習：「パワーラック」をweb検索 復習：実際の店舗でパワーラックを確認	30分
10回 寺井	実践編② 既存店舗のVMD分析「ABCマート」「ZARA」	予習：ABCマートとZARAを視察 復習：実際の店舗で単品集積売場を確認	60分
11回 寺井	実践編③ テーブルプレゼンテーションの実践	予習：テーブルプレゼンテーションをweb検索 復習：実際の店舗でテーブルの使い方を確認	30分
12回 寺井	グループディスカッション 自分の理想のVMDの「魅力」とその「理由」	予習：事前課題／VMD事例のレポート 復習：ディスカッション内容振り返り	100分
13回 寺井	実践編④演習その1 販売計画からコンセプト策定	予習：「販売計画」をweb検索 復習：イメージビジュアルリサーチ	60分
14回 寺井	実践編⑥演習その2 コンセプト策定から具体案の立案	予習：事前課題／イメージビジュアル切り抜き 復習：成果物振り返り	100分
15回 寺井	まとめ 日本のVMD現状と実際の仕事	予習：VMDの仕事への関心喚起 復習：実務への具体的想像	30分

現代流通論

五月女 由紀子

服飾文化学科 3年 前期 選択 (2単位 講義)

■授業の方針・概要

欧米や日本の流通の発展過程は店舗の拡大が重要であった。昨今では、無店舗販売であるEC比率を高める方向に転換をする企業が増え新たな段階に入っている。ECと店舗は融合され、新しいビジネスモデルがここ数年で次々と登場してきている。次世代型流通システムは個人顧客データを取り込みながら、パーソナルな提案が重要になってきている。そのためには、サプライチェーン、在庫、物流、販売までを総合的に考えていく必要がある。担当教員は10数年アパレル企業に勤務した実務経験がある教員のため、流通の革新的変化を現場の立場で捉えられる授業とする。

■到達目標（学修成果）

現代流通とイノベーションの相関関係を理解し、修得する。ディプロマポリシーで示した変革の進むファッション流通に即応できる感性・思考力と課題解決力などの能力とファッション流通イノベーションを推進する人材の育成を目標とする。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

この科目は専門選択科目の卒業要件科目となります。ファッションビジネスを理解する科目です。

■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

授業後に複数回の課題を提出する。教員からのフィードバックや助言などをしていき、最終的には各学生が考えるファッション業界における流通の未来についてのプレゼンテーションを行い、評価を確認する。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	40%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	30%
外部評価・検定試験結果	0%

■教科書

配布資料があります。

■参考文献

崔相鐵・岸本徹也 編集「1からの流通システム」、硯学舎

牧田幸裕「デジタルマーケティングの教科書 - データ資本主義時代の流通小売戦略」東洋経済新報社

■オフィスアワー・研究室

第3校舎・流通イノベーション実習室（3207）、流通イノベーション研究室（3300）

オフィスアワーについては授業初日に伝えます。

■備考

日程及び内容は授業の進行具合に合わせて変更する事もあります。

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 五月女	イントロダクション：現代流通論の昨今の革新的変化と概要と講義に臨むスタンスを説明する	予習：シラバスを読み、自身の関心を整理しておく	30分
2回 五月女	ファッションビジネスにおける流通革新の変遷① ー小売り業の近代化と百貨店の繁栄ー	復習：考察事例について振り返り、課題レポートを作成する	30分
3回 五月女	ファッションビジネスにおける流通革新の変遷② ー日本の総合スーパーとコンビニエンスストアー	復習：考察事例について振り返り、課題レポートを作成する	30分
4回 五月女	ファッションビジネスにおける流通革新の変遷③ ーSPAブランドとショッピングセンターの成立過程ー	復習：考察事例について振り返り、課題レポートを作成する	30分
5回 五月女	ファッションビジネスにおける流通革新の変遷④ ー無店舗販売とECビジネスの発展（ECモールの登場）ー	復習：考察事例について振り返り、課題レポートを作成する	30分
6回 五月女	ファッションビジネスにおける流通革新の変遷⑤ ーセレクトショップの発展と未来ー	復習：考察事例について振り返り、課題レポートを作成する	30分
7回 五月女	オムニチャネルの最新動向 ーシームレスな購買体験、OMO戦略ー	復習：考察事例について振り返り、課題レポートを作成する	30分
8回 五月女	サプライチェーンマネジメントDXと物流 ーロジスティクスの最適化ー	復習：考察事例について振り返り、課題レポートを作成する	30分
9回 五月女	D2C (Direct to Consumer) ビジネスの事例 ーFABRIC TOKYO、YUTORIなどー	復習：考察事例について振り返り、課題レポートを作成する	30分
10回 五月女	体験型店舗（ショールーム型店舗） ECと実店舗の融合 ーB8ta(ベータ)、マルイ、蔦屋書店、ポップアップショップ	復習：考察事例について振り返り、課題レポートを作成する	30分
11回 五月女	無店舗販売：ライブコマース ーインフルエンサーマーケティングを活用した販売ー	復習：考察事例について振り返り、課題レポートを作成する	30分
12回 五月女	シェアリングエコノミー、サブスクリプションモデル ーエアークローゼット、ラクサスなどー	復習：考察事例について振り返り、課題レポートを作成する	30分
13回 五月女	サーキュラーエコノミー（循環型経済） 二次流通の事例 ーメルカリのビジネスー	復習：考察事例について振り返り、課題レポートを作成する	30分
14回 五月女	リテールメディア ー顧客購買データ、行動データの活用による広告ー	予習：最終課題レポートを作成する	60分
15回 五月女	まとめ ファッション業界における流通の未来	復習：課題レポートのフィードバックへの振り返り	30分

食物学（食品学）

外川 恵

服飾文化学科 3年 前期 選択 （2単位 講義）

■授業の方針・概要

人間が日常利用している食品の主要成分や特徴，加工・調理による成分等の変化を学ぶ。
食の選択に関わる食品の安全性，食品表示，社会環境との関わりについての基礎知識を得て，適切に情報を読み解く力を養う。

■到達目標（学修成果）

1. 各食品の栄養素等の特徴，加工・調理による成分の変化を理解し，説明することができる。
2. 食品の安全性や加工食品の食品表示について理解し，適切に判断できる。
3. 食と社会環境の関わりについて理解し，食生活に活用できる。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

本科目は卒業認定における専門選択単位（ライフスタイル関係）であり，学位授与の方針として，専門コースに関わらず選択することが可能である。また，教員免許取得のための教職課程必修科目である。

■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

各講義のはじめに前回のワークシート等の解説を通して内容の振り返りを行う。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	20%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	30%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	50%
外部評価・検定試験結果	0%

■教科書

「新食品成分表F00DS」 編者 新食品成分表編集委員会 東京法令出版株式会社

■参考文献

随時紹介する。

■オフィスアワー・研究室

オフィスアワーは初回授業にて連絡する。調理研究室：第3校舎 3002調理実習室内

■備考

実践栄養学を履修していることが望ましい。
課題やワークシートの作成にChatGPTなどの生成系AIやWikipedia等を用いる場合は事前に必ず教員に確認をすること。

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 外川	食と社会環境：日本の食生活の変化，日本の食料事情	事前学習：教科書の該当箇所を確認する 事後学習：授業で得た知識を整理する	45分
2回 外川	食品の分類と特徴：植物性食品① 穀類	事前学習：教科書の該当箇所を確認する 事後学習：授業で得た知識を整理する	45分
3回 外川	食品の分類と特徴：植物性食品② いも及びでん粉類，豆類，種実類	事前学習：教科書の該当箇所を確認する 事後学習：授業で得た知識を整理する	45分
4回 外川	食品の分類と特徴：植物性食品③ 野菜類	事前学習：教科書の該当箇所を確認する 事後学習：授業で得た知識を整理する	45分
5回 外川	食品の分類と特徴：植物性食品④ 果実類，藻類，きのこ類	事前学習：教科書の該当箇所を確認する 事後学習：授業で得た知識を整理する	45分
6回 外川	食品の分類と特徴：動物性食品① 肉類，卵類	事前学習：教科書の該当箇所を確認する 事後学習：授業で得た知識を整理する	45分
7回 外川	食品の分類と特徴：動物性食品② 魚介類	事前学習：教科書の該当箇所を確認する 事後学習：授業で得た知識を整理する	45分
8回 外川	食品の分類と特徴：動物性食品③ 乳・乳製品	事前学習：教科書の該当箇所を確認する 事後学習：授業で得た知識を整理する	45分
9回 外川	食品の分類と特徴：嗜好飲料，調味料，油脂類	事前学習：教科書の該当箇所を確認する 事後学習：授業で得た知識を整理する	45分
10回 外川	食品の安全と選択：食品表示① 食品表示法の概要，生鮮食品，加工食品	事前学習：教科書の該当箇所を確認する 事後学習：授業で得た知識を整理する	45分
11回 外川	食品の安全と選択：食品表示② 食品添加物，アレルギー表示，遺伝子組み換え表示，栄養や保健機能に関する食品表示	事前学習：教科書の該当箇所を確認する 事後学習：授業で得た知識を整理する	45分
12回 外川	食品の安全と選択：食中毒，安全性を確保する制度	事前学習：教科書の該当箇所を確認する 事後学習：授業で得た知識を整理する	45分
13回 外川	食品と調理：調理の意義，おいしさを形成する要因	事前学習：教科書の該当箇所を確認する 事後学習：授業で得た知識を整理する	45分
14回 外川	食品と調理：調理法の特徴と食品の変化	事前学習：教科書の該当箇所を確認する 事後学習：授業で得た知識を整理する	45分
15回 外川	食品の安全と選択：食育とリテラシー，健康・栄養情報の読み取り方	事前学習：これまでの授業内容を確認する 事後学習：授業で得た知識を整理する	45分

住居学（製図を含む）

萬羽 郁子

服飾文化学科 3年 後期 選択 （2単位 講義）

■授業の方針・概要

住居学に関する基礎的知識の習得を目指し、まず、住居の役割や機能に説明する。次に、住居の歴史的変遷について概説し、間取り・生活の変化や室内環境について学習する。後半には、住まいの安全や住まいの計画（製図を含む）について学習し、健康・快適・安全な住まいについてまとめる。

■到達目標（学修成果）

人間生活の器である住居の役割を理解し、住生活に関して居住者として必要な基礎的知識を身につける。住居の役割と機能、住居の歴史的変遷と生活の変化、室内の環境整備の必要性や維持管理方法について理解する。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

卒業要件については、専門選択科目の単位であり、教員免許状取得のための教職課程必修科目である。ディプロマポリシー（学位授与の方針）については、「住居学」は専門コースに拘らず選択することができ、専門力向上に資する科目です。

■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

質問等はメールで対応します。振り返りテストは解説等をフィードバックします。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	0%
外部評価・検定試験結果	0%

■教科書

授業時に指示する。

■参考文献

授業中に紹介します。

■オフィスアワー・研究室

前期：なし 後期：土曜日 第3校舎講師控室（第3校舎1階）

■備考

2コマ連続（7・8限と9・10限）や一部をオンデマンド形式で行う場合があります。詳細は初回授業で説明します。

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 萬羽	オリエンテーション：住居とは、授業計画 住居の役割と機能（グループワーク）	予習：シラバスを読む。中・高家庭科教科書の 関連内容を確認する。	30分
2回 萬羽	気候風土と住まい（プレゼンテーション）	予習：日本・世界の住まいについて調べる。 復習：授業内容をノートにまとめる。	90分
3回 萬羽	住宅・住生活の変遷①：古代～中世	予習：家庭科教科書の関連内容を確認する。 復習：授業内容をノートにまとめる。	90分
4回 萬羽	住宅・住生活の変遷②：近世の住宅（グループワーク）	予習：家庭科教科書の関連内容を確認する。 復習：授業内容をノートにまとめる。	90分
5回 萬羽	住宅・住生活の変遷③：近代～現代	予習：家庭科教科書の関連内容を確認する。 復習：授業内容をノートにまとめる。	90分
6回 萬羽	環境と住生活①：温熱環境	予習：家庭科教科書の関連内容を確認する。 復習：授業内容をノートにまとめる。	90分
7回 萬羽	環境と住生活②：空気・音・光環境	予習：家庭科教科書の関連内容を確認する。 復習：授業内容をノートにまとめる。	90分
8回 萬羽	住まいの安全①：高齢者を取り巻く環境・バリアフリー	予習：家庭科教科書の関連内容を確認する。 復習：自宅バリアフリー調査をする。	90分
9回 萬羽	住まいの安全②：家庭内事故の予防・ユニバーサルデザイン	予習：家庭科教科書の関連内容を確認する。 復習：授業内容をノートにまとめる。	90分
10回 萬羽	住まいの安全③：防災	予習：家庭科教科書の関連内容を確認する。 復習：授業内容をノートにまとめる。	90分
11回 萬羽	住まいの選択と管理	予習：家庭科教科書の関連内容を確認する。 復習：住宅の選択に関する課題に取り組む。	90分
12回 萬羽	住まいの計画①：平面図	予習：家庭科教科書の関連内容を確認する。 復習：製図課題の続きを行う。	90分
13回 萬羽	住まいの計画②：家具配置	予習：家庭科教科書の関連内容を確認する。 復習：家具配置課題の続きを行う。	90分
14回 萬羽	住まいの計画③（プレゼンテーション）	予習：家庭科教科書の関連内容を確認する。 復習：授業内容をノートにまとめる。	90分
15回 萬羽	まとめと振り返り（小テスト・レポート）	予習：これまでの学習内容を確認する。 復習：振り返りレポートを作成する。	90分

保育学（実習及び家庭看護を含む）

川崎 理香

服飾文化学科

3年

後期

選択

（2単位 講義）

■授業の方針・概要

保育学においては、子どもの発達や子どもの他者への関わりについて、担当教員の幼稚園教諭・保育士の実務経験から具体例を聞き、幼児理解の姿勢を学ぶ。また知識だけでなく、自らが活動を体験することにより保育技術の向上を目指し、グループワークやプレゼンテーションによる学び合いによって保育者の役割や子どもへの理解を一層広げたり深めたりする。

■到達目標（学修成果）

- ・乳幼児期の発達を理解できるようになる。
- ・乳幼児期の子どもたちが、出会う身近な存在である人的環境や物的環境との関わりを知ることができる。
- ・教材研究を通して子ども理解を深めることができる。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

卒業要件については、専門選択科目の単位となる。ディプロマポリシー（学位授与の方針）については、「保育学」は専門コースに拘らず選択することが出来、社会基礎力の向上に資する科目である。

■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

授業のはじめに前回の授業の振り返りを行う。授業の終わりに振り返りシートを記入し、授業内容の理解の深まりを確認する。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	20%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	30%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	50%
外部評価・検定試験結果	0%

■教科書

毎回レジュメを配布する。

■参考文献

幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育、保育保育要領の各解説書

■オフィスアワー・研究室

前期： なし 連絡先： 本校舎1階教務課

後期： 土曜日（9時00分～10時40分） 本校舎1階教務課

■備考

なし

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 川崎	オリエンテーション 保育とは何か	予習：シラバスを読む。保育とは何かについて自分なりに考えをまとめる	30分
2回 川崎	乳児の発達の姿と保育	予習：子どもが誕生してから乳児期の発達について調べる	30分
3回 川崎	3～5歳児の成長・発達と保育	予習：幼児期の成長・発達について調べる	30分
4回 川崎	保育者の役割	予習：保育者についてのイメージや役割について考えをまとめる	30分
5回 川崎	5領域の目標とねらい・内容 幼児教育施設の違いについて	予習：子どもの育ちの側面からとらえた5領域について調べる	30分
6回 川崎	遊びを通しての総合的な指導	予習：子どもにとって遊びとはどのような意味を持つのか考えをまとめる	30分
7回 川崎	環境を通して行う保育・教育	予習：社会の状況に応じて変化してきた子どもを取り巻く環境について考える	30分
8回 川崎	一人一人の発達に応じた指導	予習：「個」と「集団」の関係をどのように捉えたらよいのか考える	30分
9回 川崎	同じ遊びの目的や課題を持つ友達が協力して展開する活動①	予習：課題について教材研究しておく	30分
10回 川崎	同じ遊びの目的や課題を持つ友達が協力して展開する活動②	予習：課題について教材研究しておく	30分
11回 川崎	教材研究①「模擬保育」の展開を考える…グループ協議	予習：模擬保育に応じた教材準備、役割分担、練習をする	30分
12回 川崎	教材研究②「模擬保育」の展開を考える…グループ協議	予習：模擬保育に応じた教材準備、役割分担、練習をする	30分
13回 川崎	教材研究③「模擬保育」…グループ発表・評価・反省	予習：模擬保育の発表が出来るように練習しておく	30分
14回 川崎	事例研究 保育者の援助を考える まとめ	予習：保育者の具体的な役割を事例について分析・考察しておく	30分
15回 川崎	授業内試験	予習：14回目までの授業の内容の確認	30分

食文化論

外川 恵

服飾文化学科 3年 前期 選択 (2単位 講義)

■授業の方針・概要

人間にとっての食のとらえ方，食に関する生活様式を自然環境との関わり，歴史的，文化的，社会的な背景，精神的満足感（おいしさ，楽しさなど）の側面から学ぶ。日本および他国や他宗教等の多様な食文化を理解し，食事のマナーなどは実践できるようにする。

■到達目標（学修成果）

1. 日本および他国，他宗教等の食文化の特徴を理解し，説明できる。
2. 食文化に対して自分の考えを述べることができる。
3. 日常の食事や各国の食事を理解し，マナーを実践することができる。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

本科目は卒業認定における専門選択単位（ライフスタイル関係）であり，学位授与の方針として，専門コースに関わらず選択することが可能である。

■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

各講義のはじめに前回のワークシート等の解説を通して内容の振り返りを行う。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	20%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	30%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	50%
外部評価・検定試験結果	0%

■教科書

適宜資料を配布する。

■参考文献

日本の食文化 「和食」の継承と食育（新版） 編著者 江原絢子・石川尚子 アイ・ケイ・コーポレーション

■オフィスアワー・研究室

オフィスアワーは初回の授業で連絡する。調理研究室：第3校舎 3002調理実習室内

■備考

課題やワークシートの作成にChatGPTなどの生成系AIやWikipedia等を用いる場合は事前に必ず教員に確認をすること。

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 外川	食生活と文化 共食の意義	事前学習：テーマについての考えをまとめる。 事後学習：授業で得た知識を整理する	30分
2回 外川	日本の食文化① 和食，郷土料理	事前学習：テーマについての考えをまとめる。 事後学習：授業で得た知識を整理する	30分
3回 外川	日本の食文化② 行事食と儀礼食	事前学習：テーマについての考えをまとめる。 事後学習：授業で得た知識を整理する	30分
4回 外川	日本の食文化③ 日本料理様式の形成	事前学習：テーマについての考えをまとめる。 事後学習：授業で得た知識を整理する	30分
5回 外川	日本の食文化④ 日本料理，食器・食具	事前学習：テーマについての考えをまとめる。 事後学習：授業で得た知識を整理する	30分
6回 外川	日本の食文化⑤ 菓子	事前学習：テーマについての考えをまとめる。 事後学習：授業で得た知識を整理する	30分
7回 外川	食事様式の比較	事前学習：テーマについての考えをまとめる。 事後学習：授業で得た知識を整理する	30分
8回 外川	世界の食文化① フランス料理様式の形成	事前学習：テーマについての考えをまとめる。 事後学習：授業で得た知識を整理する	30分
9回 外川	世界の食文化② フランス料理，食器・食具	事前学習：テーマについての考えをまとめる。 事後学習：授業で得た知識を整理する	30分
10回 外川	世界の食文化③ フランスの食材・料理	事前学習：テーマについての考えをまとめる。 事後学習：授業で得た知識を整理する	30分
11回 外川	世界の食文化④ 中国	事前学習：テーマについての考えをまとめる。 事後学習：授業で得た知識を整理する	30分
12回 外川	世界の食文化⑤ 韓国	事前学習：テーマについての考えをまとめる。 事後学習：授業で得た知識を整理する	30分
13回 外川	食の禁忌と忌避①	事前学習：テーマについての考えをまとめる。 事後学習：授業で得た知識を整理する	30分
14回 外川	食の禁忌と忌避②	事前学習：テーマについての考えをまとめる。 事後学習：授業で得た知識を整理する	30分
15回 外川	授業内試験及びまとめ	事前学習：これまでの学習を確認する 事後学習：試験内容を振り返る	45分

食物学（調理実習・実験）Ⅰ

外川 恵

服飾文化学科 3年 前期 選択 （1単位 実験実習）

■授業の方針・概要

調理の基本操作を科学的にとらえ、実習・実験を通して食品の特徴を活かす調理法を学び、調理技術を習得する。基本的な調理操作と献立作成等の知識を複合的に活用し、日常食の調理を習得する。なお、本実習は食品、教材を購入するために実習費を別途徴収する。

■到達目標（学修成果）

1. 食品の調理性および調理手法の特徴を理解し、基礎的な調理手法、包丁操作ができる。
2. 栄養、嗜好等に配慮した日常食を理解し、調理を行える。
3. 教員免許取得者においては、安全で科学的な調理実習が運営できる。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

本科目は卒業認定における専門選択単位（ライフスタイル関係）であり、学位授与の方針として、専門コースに関わらず選択することが可能である。また、教員免許取得のための教職課程必修科目である。

■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

各実習のはじめに前回ワークシート等の解説を通して内容の振り返りを行う。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	20%
授業内試験・課題（プレゼンテーション含む）	30%
期末試験・課題（プレゼンテーション含む）	50%
外部評価・検定試験結果	0%

■教科書

「調理学実習-基礎から応用」第9版 編著者 高橋敦子/安原安代/松田康子 女子栄養大学出版部

■参考文献

随時紹介する。

■オフィスアワー・研究室

オフィスアワーは初回の授業で連絡する。調理研究室：第3校舎 3002調理実習室内

■備考

食物アレルギーがある場合は事前に教員に相談すること。エプロン、三角巾、マスクを持参すること。実践栄養学を履修していることが望ましい。実習台の都合上、履修者数の制限を行う場合がある。その場合は、教職履修者を優先的に受け入れることとする。

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 外川	オリエンテーション、実習室における衛生管理、食品の計量	事前学習：教科書の該当箇所を確認する 事後学習：実習の料理を家庭で再現する	45分
2回 外川	だしの取り方、米の調理（炊飯）、切り方の基礎	事前学習：教科書の該当箇所を確認する 事後学習：実習の料理を家庭で再現する	60分
3回 外川	食材の基礎調理と献立：卵類 日本茶の淹れ方	事前学習：教科書の該当箇所を確認する 事後学習：実習の料理を家庭で再現する	60分
4回 外川	食材の基礎調理と献立：その他の野菜類（淡色野菜）	事前学習：教科書の該当箇所を確認する 事後学習：実習の料理を家庭で再現する	60分
5回 外川	食材の基礎調理と献立：緑黄色野菜類	事前学習：教科書の該当箇所を確認する 事後学習：実習の料理を家庭で再現する	60分
6回 外川	食材の基礎調理と献立：いも類	事前学習：教科書の該当箇所を確認する 事後学習：実習の料理を家庭で再現する	60分
7回 外川	食材の基礎調理と献立：豆類	事前学習：教科書の該当箇所を確認する 事後学習：実習の料理を家庭で再現する	60分
8回 外川	食材の基礎調理と献立：ゲル化剤	事前学習：教科書の該当箇所を確認する 事後学習：実習の料理を家庭で再現する	60分
9回 外川	食材の基礎調理と献立：乳類・小麦粉類	事前学習：教科書の該当箇所を確認する 事後学習：実習の料理を家庭で再現する	60分
10回 外川	食材の基礎調理と献立：小麦粉類	事前学習：教科書の該当箇所を確認する 事後学習：実習の料理を家庭で再現する	60分
11回 外川	食材の基礎調理と献立：魚類①	事前学習：教科書の該当箇所を確認する 事後学習：実習の料理を家庭で再現する	60分
12回 外川	食材の基礎調理と献立：肉類①	事前学習：教科書の該当箇所を確認する 事後学習：実習の料理を家庭で再現する	60分
13回 外川	食材の基礎調理と献立：ひき肉	事前学習：教科書の該当箇所を確認する 事後学習：実習の料理を家庭で再現する	60分
14回 外川	食材の基礎調理と献立：魚類②、肉類②	事前学習：教科書の該当箇所を確認する 事後学習：実習の料理を家庭で再現する	60分
15回 外川	筆記・実技試験	事前学習：これまでの授業内容を確認する 事後学習：試験内容を復習する	60分

食物学（調理実習・実験）Ⅱ

外川 恵

服飾文化学科 3年 後期 選択 （1単位 実験実習）

■授業の方針・概要

調理の基本操作を科学的にとらえ、実習・実験を通して加熱操作別の調理特性を学ぶ。食物学（調理学実習・実験Ⅰ）で学んだ調理技術を向上させ、対象者や目的に合わせた日常食、行事食の調理に応用させる。なお、本実習は食品、教材を購入するために実習費を別途徴収する。

■到達目標（学修成果）

1. 調理手法の特徴を理解し、応用した調理手法および包丁操作ができる。
2. 栄養、嗜好、季節等に配慮し、対象者に合わせた日常食および行事食の調理を行える。
3. 教員免許取得者においては、安全で科学的かつ日常生活に応用可能な調理実習が運営できる。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

本科目は卒業認定における専門選択単位（ライフスタイル関係）であり、学位授与の方針として、専門コースに関わらず選択することが可能である。また、教員免許取得のための教職課程必修科目である。

■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

各実習のはじめに前回ワークシートの解説を通して内容の振り返りを行う。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	20%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	30%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	50%
外部評価・検定試験結果	0%

■教科書

「調理学実習-基礎から応用」第9版 編著者 高橋敦子/安原安代/松田康子 女子栄養大学出版部

■参考文献

随時紹介する。

■オフィスアワー・研究室

オフィスアワーは初回の授業で連絡する。調理研究室：第3校舎 3002調理実習室内

■備考

食物アレルギーがある場合は事前に教員に相談すること。エプロン、三角巾、マスクを持参すること。
実践栄養学、食物学（調理学実習・実験Ⅰ）を履修していることが望ましい。実習台の都合上、履修者数の制限を行う場合がある。
その場合は、教職履修者を優先的に受け入れることとする。

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 外川	調理法からのアプローチ：汁、減塩の工夫	事前学習：教科書の該当箇所を確認する 事後学習：実習の料理を家庭で再現する	45分
2回 外川	応用調理：和食献立①	事前学習：自身の朝食をふりかえる 事後学習：実習の料理を家庭で再現する	60分
3回 外川	調理法からのアプローチ：煮る	事前学習：教科書の該当箇所を確認する 事後学習：実習の料理を家庭で再現する	60分
4回 外川	調理法からのアプローチ：炒める	事前学習：教科書の該当箇所を確認する 事後学習：実習の料理を家庭で再現する	60分
5回 外川	調理法からのアプローチ：焼く	事前学習：教科書の該当箇所を確認する 事後学習：実習の料理を家庭で再現する	60分
6回 外川	調理法からのアプローチ：揚げる	事前学習：教科書の該当箇所を確認する 事後学習：実習の料理を家庭で再現する	60分
7回 外川	調理法からのアプローチ：魚をおろす	事前学習：教科書の該当箇所を確認する 事後学習：実習の料理を家庭で再現する	60分
8回 外川	応用調理：和風献立②	事前学習：教科書の該当箇所を確認する 事後学習：実習の料理を家庭で再現する	60分
9回 外川	調理法からのアプローチ：蒸す	事前学習：教科書の該当箇所を確認する 事後学習：実習の料理を家庭で再現する	60分
10回 外川	応用調理：弁当	事前学習：教科書の該当箇所を確認する 事後学習：実習の料理を家庭で再現する	60分
11回 外川	応用調理：行事食①（クリスマス料理）	事前学習：教科書の該当箇所を確認する 事後学習：実習の料理を家庭で再現する	60分
12回 外川	応用調理：行事食②（正月料理）	事前学習：教科書の該当箇所を確認する 事後学習：実習の料理を家庭で再現する	60分
13回 外川	応用調理：洋風料理	事前学習：教科書の該当箇所を確認する 事後学習：実習の料理を家庭で再現する	60分
14回 外川	応用調理：中国料理	事前学習：教科書の該当箇所を確認する 事後学習：実習の料理を家庭で再現する	60分
15回 外川	筆記・実技試験	事前学習：これまでの授業内容を確認する 事後学習：試験内容を復習する	60分

言語と服飾文化

北澤 茉奈、安部 智子

服飾文化学科 3年 前期 選択 (2単位 講義)

■授業の方針・概要

服飾文化に関する題材を英語で読むことにより、その知識を深めるとともに、英文で書かれた内容を素早く正確に理解するための練習をします。1940～1950年代のパリ・オートクチュール (Christian DiorとCristobal Balenciaga) についてのアカデミックな英語 (解説文) を扱い、語学としての英語と服飾文化の両方にフォーカスします。学生それぞれの英文解釈に対するフィードバックおよび解説、服飾に関する講義の形式で進めます。英文解釈は授業内に提出し、プロジェクターに投影する形で皆に共有します。授業毎に復習テストを実施し、前回内容と関連させながら新たな範囲を読み解いていきます。

■到達目標 (学修成果)

1. 英語で書かれた文章の構造を理解し、求められた情報を素早く見つけ正確に理解することができるようになる、2. 辞書や検索の結果から得た情報を自分の言葉でまとめ発信することができるようになる、3. パリ・オートクチュールについての知識を増やす、の3点です。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

教養科目 (国際関係) ・選択科目です。教養選択科目 (一般・体育・国際関係) 16単位は卒業要件です。教養科目としての言語と服飾文化は、国際社会人としての資質、能力、判断力を培い、教養ある豊かな人間性を涵養することをめざしています。さらに、語学と専門の内容とを関連させ、服飾業界で活躍できる専門力向上の一助となることを目指しています。

■フィードバック (試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用) 方法

復習テスト、英文解釈は授業内で採点・解説を行います。まとめのテストは採点し返却を行います。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題 (プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題 (プレゼンテーション含む)	0%
外部評価・検定試験結果	0%

■教科書

Claire Wilcox編 The Golden Age of Couture: Paris and London 1947-57 (V&A Publications) より
第6章 Dior and Balenciaga: A Different Approach to the Body (pp. 138-154)

■参考文献

必要があれば指示します。

■オフィスアワー・研究室

連絡研究室：英語研究室 (研究棟3階6034) ・服飾造形研究室 (研究棟3階6033)

オフィスアワー：第1回目の授業で提示します。

■備考

テキストは、大型本のためコピーを用意します。

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容 (予習・復習等)	必要時間
1回 各自	イントロダクション 課題の詳細説明	予習：シラバスを読む。復習：授業のタスクについて流れを整理する。	30分
2回 各自	ディオールとバレンシアガについて	予習：テキストに目を通す。復習：復習テストに備える。	45分
3回 各自	ディオールの生い立ちとデザイナーとしての初期	予習：事前に提示された問題について解答を準備する。復習：復習テストの準備。	45分
4回 各自	バレンシアガの生い立ちとデザイナーとしての初期	予習：事前に提示された問題について解答を準備する。復習：復習テストの準備。	45分
5回 各自	ディオールの性格・信念・デザインへのアプローチ	予習：事前に提示された問題について解答を準備する。復習：復習テストの準備。	45分
6回 各自	バレンシアガの性格・信念・デザインへのアプローチ	予習：事前に提示された問題について解答を準備する。復習：復習テストの準備。	45分
7回 各自	ディオールとバレンシアガのデザイン・スピリット	予習：事前に提示された問題について解答を準備する。復習：復習テストの準備。	45分
8回 各自	ディオールとバレンシアガの制作プロセス	予習：事前に提示された問題について解答を準備する。復習：復習テストの準備。	45分
9回 各自	バレンシアガのカッティングと構造	予習：事前に提示された問題について解答を準備する。復習：復習テストの準備。	45分
10回 各自	ディオールのカッティングと構造	予習：事前に提示された問題について解答を準備する。復習：復習テストの準備。	45分
11回 各自	バレンシアガのフォルム	予習：事前に提示された問題について解答を準備する。復習：復習テストの準備。	45分
12回 各自	ディオールとバレンシアガの代表的ライン	予習：事前に提示された問題について解答を準備する。復習：復習テストの準備。	45分
13回 各自	ディオールとバレンシアガのディテール	予習：事前に提示された問題について解答を準備する。復習：復習テストの準備。	45分
14回 各自	まとめ	予習：これまでの授業内容を振り返る。	60分
15回 各自	講評	復習：これまでの授業内容を振り返る。	45分

日本語表現Ⅰ

伊藤 高広

服飾文化学科 3年 前期 選択 (2単位 講義)

■授業の方針・概要

本学留学生が、大学生レベルの文章力をつけるための授業です。
短文からはじまって、短い文章を書けるまでの練習をする
翻訳ソフトを活用しながらでも、ある程度のまとまった分量の文章を書く

■到達目標（学修成果）

正確な日本語で短文を書けるようになる
論文を書くための基礎を身につける

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

外国人留学生の卒業要件科目で、教養必修科目です
社会・文化の相互理解に資する科目です

■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

各回ごとに課題を添削します

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	%
外部評価・検定試験結果	%

■教科書

大学で学ぶための 日本語ライティング 短文からレポート作成まで
the japan times publishing

■参考文献

必要に応じて指示する

■オフィスアワー・研究室

最初の授業時に指示する
文章表現研究室（研究棟1階）

■備考

なし

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 伊藤	授業の方針・概要	予習 シラバスを読んでおく	30分
2回 伊藤	質問に対して適切に回答する①	復習 語彙を増やすための勉強をする	60分
3回 伊藤	質問に対して適切に回答する②	復習 語彙を増やすための勉強をする	60分
4回 伊藤	情報を整理して説明する①	復習 語彙を増やすための勉強をする	60分
5回 伊藤	情報を整理して説明する②	復習 語彙を増やすための勉強をする	60分
6回 伊藤	状況や理由を説明する①	復習 語彙を増やすための勉強をする	60分
7回 伊藤	状況や理由を説明する②	復習 語彙を増やすための勉強をする	60分
8回 伊藤	文章の構成を考える①	復習 語彙を増やすための勉強をする	60分
9回 伊藤	文章の構成を考える②	復習 語彙を増やすための勉強をする	60分
10回 伊藤	小まとめ 確認と短い作文	復習 自分の苦手なところを確認する	60分
11回 伊藤	報告する文章を書く①	復習 語彙を増やすための勉強をする	60分
12回 伊藤	報告する文章を書く②	復習 語彙を増やすための勉強をする	60分
13回 伊藤	意見文を書く①	復習 語彙を増やすための勉強をする	60分
14回 伊藤	意見文を書く②	復習 語彙を増やすための勉強をする	60分
15回 伊藤	前期のまとめ	復習 自分の苦手なところを確認する	60分

日本語表現Ⅱ

伊藤 高広

服飾文化学科 3年 後期 選択 (2単位 講義)

■授業の方針・概要

日本語表現Ⅰに引き続き、本学留学生が、大学生レベルの文章力をつけるための授業です。
短文からはじまって、レポートレベルの文章が書けるまでの練習をする
翻訳ソフトを活用しながらも、ある程度のまとまった分量の文章を書く

■到達目標（学修成果）

正確な日本語でレポートを書けるようになる
論文を書くための基礎を身につける

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

外国人留学生の卒業要件科目で、教養必修科目です
社会・文化の相互理解に資する科目です

■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

各回ごとに課題を添削します

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	%
外部評価・検定試験結果	%

■教科書

大学で学ぶための 日本語ライティング 短文からレポート作成まで
the japan times publishing

■参考文献

必要に応じて指示する

■オフィスアワー・研究室

最初の授業時に指示する
文章表現研究室（研究棟1階）

■備考

なし

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 伊藤	自己紹介の文章を書く①	予習 シラバスを読んでおく	30分
2回 伊藤	自己紹介の文章を書く②	復習 語彙を増やすための勉強をする	60分
3回 伊藤	レポートに特有の表現に慣れる①	復習 語彙を増やすための勉強をする	60分
4回 伊藤	レポートに特有の表現に慣れる②	復習 語彙を増やすための勉強をする	60分
5回 伊藤	引用の仕方を練習する①	復習 語彙を増やすための勉強をする	60分
6回 伊藤	引用の仕方を練習する②	復習 語彙を増やすための勉強をする	60分
7回 伊藤	引用の仕方を練習する③	復習 語彙を増やすための勉強をする	60分
8回 伊藤	資料の使い方を練習する①	復習 語彙を増やすための勉強をする	60分
9回 伊藤	資料の使い方を練習する②	復習 語彙を増やすための勉強をする	60分
10回 伊藤	資料の使い方を練習する③	復習 語彙を増やすための勉強をする	60分
11回 伊藤	小まとめと確認	復習 自分の苦手なところを確認する	60分
12回 伊藤	総合的な作文の練習①	復習 語彙を増やすための勉強をする	60分
13回 伊藤	総合的な作文の練習②	復習 語彙を増やすための勉強をする	60分
14回 伊藤	総合的な作文の練習③	復習 語彙を増やすための勉強をする	60分
15回 伊藤	まとめ	復習 自分の苦手なところを確認する	60分

日本語 I

銭 陶緯

服飾文化学科

3年

前期

選択必修 (4単位 講義)

■授業の方針・概要

大学で学ぶために必要な日本語力を習得する。話す活動を中心にした授業を行うので、積極的に予習と復習をすることを求める。日本語Iに関しては、専門用語を学び、初級文法の復習定着及びその運用能力の向上を目指す。また、読解と対話のタスクを通じて、日本語力を高めると同時にテーマについての理解力と思考力を養成する。

■到達目標 (学修成果)

専門用語を学び、講義や発表を理解する力を高める。習得した文法事項を使い、自分の意見をまとめ、発表やディスカッションができるようになる。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

教養科目の中の外国語選択必須科目で、また、グローバル人材としての日本語による円滑なコミュニケーション能力を養い、異文化理解力、豊かな感性、表現力を涵養することを目指している。

■フィードバック (試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用) 方法

通常の授業内で返却・解説します。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	40%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	30%
外部評価・検定試験結果	0%

■教科書

『JLPT文法N3ポイント & プラクティス』 著者：斎藤明子・田川麻央・森田亮子 等 出版社：スリーエーネットワーク
『タスクベースで学ぶ日本語 中級1』 著者：国際基督教大学教養学部日本語教育課程 出版社：スリーエーネットワーク

■参考文献

必要に応じて提示します。

■オフィスアワー・研究室

第1回の授業で説明します。

■備考

なし

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容 (予習・復習等)	必要時間
1回 各自	ガイダンス 【語彙・文法知識】専門用語。スポーツクラブに入会する。	【予習】 シラバスを読む。 【復習】 授業に必要なものを準備する。	30分
2回 各自	【語彙・文法知識】専門用語。友達をお花見に誘う。 【対話】 習い事は役に立つ?①	【予習】 文法教科書の練習問題・調べもの 【復習】 対話教科書の書く部分の所定課題	60分
3回 各自	【語彙・文法知識】専門用語。友達とお花見を計画する。 【対話】 習い事は役に立つ?②	【予習】 文法教科書の練習問題 【復習】 対話教科書の書く部分の所定課題	60分
4回 各自	【語彙・文法知識】専門用語。電車が遅れる。 【対話】 習い事は役に立つ?③	【予習】 文法教科書の練習問題 【復習】 「文型・表現」練習シート	60分
5回 各自	【語彙・文法知識】専門用語。これは雑誌の占いだ。 【対話】 漢字・平仮名・片仮名、どれで書く?①	【予習】 文法教科書の練習問題・調べもの 【復習】 対話教科書の書く部分の所定課題	60分
6回 各自	【語彙・文法知識】専門用語。留学した理由を話す。 【対話】 漢字・平仮名・片仮名、どれで書く?②	【予習】 文法教科書の練習問題 【復習】 対話教科書の書く部分の所定課題	60分
7回 各自	【語彙・文法知識】専門用語。インターネットでの買い物 【対話】 漢字・平仮名・片仮名、どれで書く?③	【予習】 文法教科書の練習問題 【復習】 「文型・表現」練習シート	60分
8回 各自	【語彙・文法知識】専門用語。カメラを修理に出します。 【対話】 昔話の世界を知ろう①	【予習】 文法教科書の練習問題・調べもの 【復習】 対話教科書の書く部分の所定課題	60分
9回 各自	【語彙・文法知識】専門用語。カジュアルな表現と敬語 【対話】 昔話の世界を知ろう②	【予習】 文法教科書の練習問題 【復習】 対話教科書の書く部分の所定課題	60分
10回 各自	【語彙・文法知識】専門用語。友達に授業のお願いをする。 【対話】 昔話の世界を知ろう③	【予習】 文法教科書の練習問題 【復習】 「文型・表現」練習シート	60分
11回 各自	【語彙・文法知識】専門用語。友達を相撲に誘う。 【対話】 旅の計画を立ててみよう①	【予習】 文法教科書の練習問題・調べもの 【復習】 対話教科書の書く部分の所定課題	60分
12回 各自	【語彙・文法知識】専門用語。レトルトカレーを温める。 【対話】 旅の計画を立ててみよう②	【予習】 文法教科書の練習問題 【復習】 対話教科書の書く部分の所定課題	60分
13回 各自	【語彙・文法知識】専門用語。職場で休みの希望を言う。 【期末試験の説明・復習】	【予習】 文法教科書の練習問題 【復習】 期末試験の準備	60分
14回 各自	【語彙・文法知識】専門用語。台風の準備をする。 【対話】 旅の計画を立ててみよう③	【予習】 文法教科書の練習問題 【復習】 「文型・表現」練習シート	60分
15回 各自	期末試験	【予習】 期末試験の準備	90分

日本語Ⅱ

錢 陶緯

服飾文化学科 3年 後期 選択必修 (4単位 講義)

■授業の方針・概要

日本語Ⅱに引き続き、大学で学ぶために必要な日本語力を習得する。話す活動を中心にした授業を行うので、積極的に予習と復習をすることを求める。日本語Ⅱに関しては、専門用語をさらに学び、中級文法の定着及びその運用能力の向上を目指す。また、対話、発表などのタスクを通じて、日本語力を高めると同時にテーマについての思考力と表現力を養成する。

■到達目標（学修成果）

高度な専門用語を学び、講義や発表を理解する力をさらに高める。習得した文法事項を使いこなす、表現力とともにレポートや論文を書くための基礎的な日本語力を身に付ける。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

教養科目の中の外国語選択必須科目で、また、グローバル人材としての日本語による円滑なコミュニケーション能力を養い、異文化理解力、豊かな感性、表現力を涵養することを目指している。

■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

通常の授業内で返却・解説します。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	40%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	30%
外部評価・検定試験結果	%

■教科書

『JLPT文法N3ポイント＆プラクティス』 著者：斎藤明子・田川麻央・森田亮子 等 出版社：スリーエーネットワーク
『タスクベースで学ぶ日本語 中級1』 著者：国際基督教大学教養学部日本語教育課程 出版社：スリーエーネットワーク

■参考文献

必要に応じて提示します。

■オフィスアワー・研究室

第1回の授業で説明します。

■備考

なし

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 各自	ガイダンス 【語彙・文法知識】専門用語。これは化粧品品の宣伝だ。	【予習】 シラバスを読む。 【復習】 授業に必要なものを準備する。	30分
2回 各自	【語彙・文法知識】専門用語。電気屋でパソコンを買う 【対話】 違いについて考えてみよう。①	【予習】 文法教科書の練習問題・調べもの 【復習】 対話教科書の書く部分の所定課題	60分
3回 各自	【語彙・文法知識】専門用語。お勧めの観光地を聞く 【対話】 違いについて考えてみよう。②	【予習】 文法教科書の練習問題 【復習】 対話教科書の書く部分の所定課題	60分
4回 各自	【語彙・文法知識】専門用語。接続詞と副詞 【対話】 違いについて考えてみよう。③	【予習】 文法教科書の練習問題 【復習】 「文型・表現」練習シート	60分
5回 各自	【語彙・文法知識】専門用語。法律相談所に電話をかける。 【対話】 音楽にはどんな力がある？①	【予習】 文法教科書の練習問題・調べもの 【復習】 対話教科書の書く部分の所定課題	60分
6回 各自	【語彙・文法知識】専門用語。これは映画の広告だ。 【対話】 音楽にはどんな力がある？②	【予習】 文法教科書の練習問題 【復習】 対話教科書の書く部分の所定課題	60分
7回 各自	【語彙・文法知識】専門用語。言葉の意味を調べる。 【対話】 音楽にはどんな力がある？③	【予習】 文法教科書の練習問題 【復習】 「文型・表現」練習シート	60分
8回 各自	【語彙・文法知識】専門用語。先生に年賀状を送る。 【対話】 日本から世界へ①	【予習】 文法教科書の練習問題・調べもの 【復習】 対話教科書の書く部分の所定課題	60分
9回 各自	【語彙・文法知識】専門用語。車の事故があったそうだ。 【対話】 日本から世界へ②	【予習】 文法教科書の練習問題 【復習】 対話教科書の書く部分の所定課題	60分
10回 各自	【語彙・文法知識】専門用語。新聞社に私の意見を送る。 【対話】 日本から世界へ③	【予習】 文法教科書の練習問題 【復習】 「文型・表現」練習シート	60分
11回 各自	【語彙・文法知識】専門用語。スピーチをする。 【対話】 プロジェクト①	【予習】 文法教科書の練習問題・調べもの 【復習】 対話教科書の書く部分の所定課題	60分
12回 各自	【語彙・文法知識】専門用語。部屋を借りる。 【対話】 プロジェクト②	【予習】 文法教科書の練習問題 【復習】 対話教科書の書く部分の所定課題	60分
13回 各自	【語彙・文法知識】専門用語。健康診断を受ける。 【期末試験の説明・復習】	【予習】 文法教科書の練習問題 【復習】 期末試験の準備	60分
14回 各自	【語彙・文法知識】専門用語。お世話になった人にお礼を 【対話】 プロジェクト③	【予習】 文法教科書の練習問題 【復習】 「文型・表現」練習シート	60分
15回 各自	期末試験	【予習】 期末試験の準備	90分

博物館展示論

横山 昭一

服飾文化学科 3年 後期 選択 (2単位 講義)

■授業の方針・概要

展示は博物館への導入であると同時に、博物館の顔ともいえ、その良し悪しが集客力に大きくかかわってきます。今まで来館者として見ていた「博物館展示」を、学芸員の立場で創造していく皆さんに、長年地域博物館に学芸員として携わってきた実務経験を活かして、博物館展示の意義や歴史、実際の事例等を総合的に講義します。一人でも多くの観覧者を集客し、少しでも長く館に滞留して、興味や好奇心を起こさせる展示の開発や運営ができる学芸員の育成を目指します。

■到達目標（学修成果）

- ①博物館における展示の歴史、展示の諸形態から教育活動、展示メディアに関する理論や方法に関する知識・技術が習得できる。
- ②ユニバーサルデザインの考え方や展示評価を学び、照明理論やディスプレイ等の今日的課題を主体的に考えることができる。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

この科目は、卒業要件科目ではありません。博物館学芸員資格取得のための学芸員課程必修科目です。学芸員として必要な展示に関する理論や実践方法を学びながら、社会人としての幅広く深い教養と総合的な判断力の向上をめざします。

■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

授業の冒頭に前回の振り返り、終わりに感想や質問内容をメモで提出。各小テスト・レポート提出後の講義で内容解説を行なう。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	0%
外部評価・検定試験結果	0%

■教科書

なし 課題内容に即した資料プリントを配布します。

■参考文献

加藤有次編 「新編博物館学講座9博物館展示論」 雄山閣
青木豊著 「博物館展示の研究」 雄山閣

■オフィスアワー・研究室

講義日の講義終了後、第三校舎講師控室(第3校舎1階)、もしくは教務課(本校舎1階)を通じて連絡をしてください。

■備考

なし

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 横山	博物館展示論のガイダンス ・展示に関するアンケート実施。 「あなたが考える良い博物館像」を各自発表。	予習:シラバスを読む。機会あるごとに多くの博物館施設の展示を見ておく。	40分
2回 横山	展示の原則・理念 展示の基本要素、展示の原則を広義の展示を交えて学ぶ。	復習:配付資料を振り返り、事例報告も含めて内容を整理しておく。	30分
3回 横山	展示の種類 博物館展示の命題や要件、博物館展示の種類を学ぶ。	復習:配付資料を振り返り、事例報告も含めて内容を整理しておく。	30分
4回 横山	展示と展示論の歴史 博物館展示論の研究の歴史を学ぶ。 小テスト	復習:配付資料を振り返り、事例報告も含めて内容を整理しておく。	40分
5回 横山	常設展示と企画展示 館種や設置目的によって異なる展示の特徴を学ぶ。	復習:配付資料、小テストを振り返り、事例報告も含めて内容を整理しておく。	30分
6回 横山	博物館展示の実例 施設見学や学芸員との質疑を通して館の課題を知り評価を行う。 ・見学レポート作成	予習:事前案内や配付資料を読み返す。 見学レポートをまとめる。	70分
7回 横山	展示業務の実例ー構想から施工までー 計画設計、実施設計の流れと各段階での業務を学ぶ。	復習:配付資料を振り返り、事例報告も含めて内容を整理しておく。	30分
8回 横山	展示室の構成Ⅰ 環境・空調・動線・照明・音響・セキュリティ動線計画や照明を中心に学ぶ。	復習:配付資料を振り返り、事例報告も含めて内容を整理しておく。	30分
9回 横山	展示室の構成Ⅱ サイン・展示ケース・演示具 展示ケースの役割・種類、メンテナンスを学ぶ。 小テスト	復習:配付資料を振り返り、事例報告も含めて内容を整理しておく。	40分
10回 横山	展示の技法Ⅰ 映像・インタラクティブ展示、ハンズオン展示 映像展示の特徴やハンズオン展示の実例を学ぶ。	復習:配付資料、小テストを振り返り、事例報告も含めて内容を整理しておく。	30分
11回 横山	展示の技法Ⅱ 展示グラフィック・解説文・展示図録 展示パネルの種類や解説文、図録作成のプロセスを学ぶ。	復習:配付資料、小テストを振り返り、事例報告も含めて内容を整理しておく。	30分
12回 横山	展示の技法Ⅲ ワークシート・ワークブック・教育プログラム 教育プログラムの実例や利活用のあり方を学ぶ。	復習:配付資料を振り返り、事例報告も含めて内容を整理しておく。	30分
13回 横山	展示の技法Ⅳ ユニバーサルデザイン・展示評価 ユニバーサルデザインや展示評価について学ぶ。 小テスト	復習:配付資料を振り返り、事例報告も含めて内容を整理しておく。	40分
14回 横山	博物館展示の情報化と広報活動 展示解説の方法、他言語表記、広報活動のあり方を学ぶ。	復習:配付資料、小テストを振り返り、事例報告も含めて内容を整理しておく。	30分
15回 横山	まとめ 授業や提出物のフィードバックを行い、これからの展示について討議する。	復習:授業を振り返り、提出物のフィードバックを行なう。	30分

博物館教育論

浪川 幹夫

服飾文化学科 3年 前期 選択 (2単位 講義)

■授業の方針・概要

博物館における教育は、博物館の総体であると考えなければならない。したがって、博物館の基本機能は、すべて博物館教育を目的としている。つまり、収集・保存・研究は展示と教育を目的としているので、博物館教育論は博物館の最終機能となる。

展示は博物館教育の基本であるが、展示論は別途科目として存在するため、ここでは展示及び展示関連事業を基本とした教育諸活動に焦点をあてて理解を求める。

■到達目標（学修成果）

- ・博物館教育活動の歴史と概念の理解
- ・博物館における教育諸活動の具体的実践

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

学芸員になるための資格取得（大学を卒業して学士の学位を取得して学芸員になるための資格を取得する方法）のために、文部科学省令の定める大学で習得するべき博物館に関する科目の単位の一つ。

■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

授業終了3日前から課題作成を行い、最終日に提出。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	%
外部評価・検定試験結果	%

■教科書

授業資料プリントを作成する。

■参考文献

授業時に適宜指示する。

■オフィスアワー・研究室

前期 月曜日（14：00～14：30）

■備考

成績表は、課題提出による。課題は、授業終了3日前から課題作成を行い、最終日に提出するものとする。

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 浪川	ガイダンス 自己紹介 鎌倉の博物館紹介 授業の進め方	予習：シラバス（学芸員課程部分）をよく確認する	30分
2回 浪川	博物館法および関係法規から見る博物館教育（講義・前半）	復習：配布資料の読み返し、授業の振り返り	30分
3回 浪川	博物館法および関係法規から見る博物館教育（講義・後半）	復習：配布資料の読み返し、授業の振り返り	30分
4回 浪川	博物館教育の概念と歴史・教育論研究史（講義）	復習：配布資料の読み返し、授業の振り返り	30分
5回 浪川	博物館教育の具体例Ⅰ ミュージアムワークシート・ミュージアムワークショップ（講義）	復習：配布資料の読み返し、授業の振り返り	30分
6回 浪川	博物館教育の具体例Ⅱ 講演会・講座・出前授業・各種ワークショップ（講義）	復習：配布資料の読み返し、授業の振り返り	30分
7回 浪川	杉野学園衣裳博物館を見学（博物館教育論の視点から）	復習：配布資料の読み返し、授業の振り返り	30分
8回 浪川	展示資料の取り扱いと、展示手法について（博物館教育論の観点から・実技）	復習：配布資料の読み返し、授業の振り返り	30分
9回 浪川	博物館教育論の観点から行う、資料の研究手法（実技。絵巻物読解）	復習：配布資料の読み返し、授業の振り返り	30分
10回 浪川	博物館教育論の観点から行う、資料の研究手法（実技。写真撮影についてと図録作成・概説・実技）	復習：配布資料の読み返し、授業の振り返り	30分
11回 浪川	ミュージアムワークシートの作成のための概念説明及び実技（講義と、対象博物館選定・実技）	復習：配布資料の読み返し、授業の振り返り（ワークシート作成準備）	30分
12回 浪川	ミュージアムワークシートの作成（実技）	復習：ワークシートの作成	30分
13回 浪川	ミュージアムワークシートの作成（実技）	復習：ワークシートの作成	30分
14回 浪川	ミュージアムワークシートの作成（実技）	復習：ワークシートの作成および配布資料の読み返し、授業の振り返り	30分
15回 浪川	まとめ（成果物の提出と評価）	復習：14回全体の振り返り	40分

博物館情報・メディア論

丸山 憲子

服飾文化学科 3年 後期 選択 (2単位 講義)

■授業の方針・概要

博物館を「情報」「メディア」という語をキーワードに学んでいく。「情報」「メディア」という用語の理解の上、実際の今日の博物館での資料の情報化他「情報」の諸相、「情報」の伝達手段としての「メディア」の実際について学習していく。

■到達目標（学修成果）

博物館における「情報」「メディア」についての基本的知識の習得。
博物館活動における「情報」の本質について考察できることを目標とする。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

学芸員になるための資格取得（大学を卒業して学士の学位を取得するとともに得られる資格）のために、文部科学省令の定める大学で習得するべき科目の一つ。卒業要件科目ではありません。

■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

小テスト・試験後の解説

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	0%
外部評価・検定試験結果	0%

■教科書

授業時に指示します。

■参考文献

随時、紹介します。
課題内容に即した資料プリントを配布します。

■オフィスアワー・研究室

講義日の講師控室、もしくは教務課を通じて連絡をしてください。

■備考

博物館に関する時事問題を随時取り上げます。
学生の興味・関心に応じて弾力的に対応します。
普段から博物館見学、博物館に関する情報収集等積極的に行いましょう。

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 丸山	オリエンテーション（博物館情報・メディア論の概要の説明・授業計画）	予習：シラバス（学芸員課程部分）を読んでおくこと。	30分
2回 丸山	コレクション・ドキュメンテーション①について学習する。	復習：配布資料の読み返し。語句を整理しておくこと。	30分
3回 丸山	コレクション・ドキュメンテーション②について学習する。	復習：配布資料の読み返し。語句を整理しておくこと。	30分
4回 丸山	データベース化、デジタル・アーカイブについて学習する。	復習：配布資料の読み返し。語句を整理しておくこと。	30分
5回 丸山	博物館における情報管理と情報発信について学習する。	復習：配布資料の読み返し。語句を整理しておくこと。	30分
6回 丸山	博物館における権利関係について学習する。	復習：配布資料の読み返し。語句を整理しておくこと。振り返りをしておくこと。	60分
7回 丸山	技術革新と博物館活動について学習する。資料の情報化・情報管理・情報発信についてのまとめ（小テスト）	復習：配布資料の読み返し。語句を整理しておくこと。	30分
8回 丸山	広報と情報について学習する。	復習：配布資料の読み返し。語句を整理しておくこと。振り返りをしておくこと。	60分
9回 丸山	博物館における視聴覚メディアの歴史を学習する。	復習：配布資料の読み返し。語句を整理しておくこと。	30分
10回 丸山	今日の博物館展示における視聴覚メディアについて学習する。	復習：配布資料の読み返し。語句を整理しておくこと。振り返りをしておくこと。	60分
11回 丸山	まとめ（小テスト）及びプレゼンテーションのための説明。	復習：配布資料の読み返し。語句を整理しておくこと。プレゼンテーション準備。	60分
12回 丸山	実在する博物館を挙げてメディア論の観点よりプレゼンテーション	復習：配布資料の読み返し。語句を整理しておくこと。プレゼンテーション準備。	60分
13回 丸山	実在する博物館を挙げてメディア論の観点よりプレゼンテーション	復習：配布資料の読み返し。語句を整理しておくこと。振り返りをしておくこと。	30分
14回 丸山	博物館における映像展示の特性について学習する。	復習：配布資料の読み返し。全体の振り返り	60分
15回 丸山	総まとめ	復習：全体の振り返り	60分